

かわさき区の宝物シート

| |
|-------|
| 宝物No. |
| 14-1 |

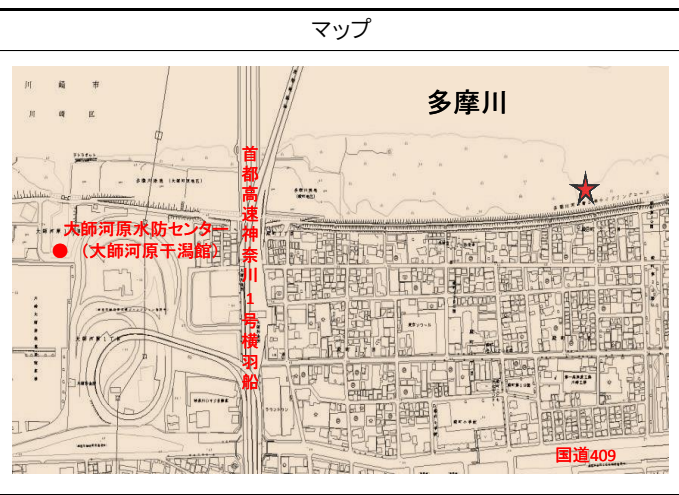
たまがわ(かこうひがた・さくらなみき) 多摩川(河口干潟・桜並木)



| | | | |
|-----|------|------|---|
| エリア | 大師地区 | シーズン | 春 |
| | 殿町 | 日時 | |

| | | |
|------|----------------------------------------|---------------------------------------------|
| 目的 | <input checked="" type="checkbox"/> 観る | <input checked="" type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する |
| | <input type="checkbox"/> 食べる | <input type="checkbox"/> その他 |
| 宝物定義 | <input type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> イベント・祭り |
| | <input type="checkbox"/> 味づくり | <input checked="" type="checkbox"/> にぎわい |
| | <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの | <input type="checkbox"/> 港めぐり |
| | <input type="checkbox"/> 歴史的なもの | <input type="checkbox"/> 人物 |
| | | |
| | | |

| | |
|--------|---------------------------|
| 所在地 | 川崎区殿町付近 |
| 問い合わせ | 川崎市建設緑政局緑政部多摩川施策推進課 |
| TEL | 044-200-2268 |
| FAX | 044-200-3979 |
| E-mail | 53tamasu@city.kawasaki.jp |
| URL | |
| 交通 | 京急大師線小島新田駅より徒歩約10分 |



※川崎市の承認を得て同市発行の都市計画基本図を複製したものです。
承認番号(川崎市指令ま計第159号)

基礎情報

- 多摩川は、東京湾にそそぐ総延長138kmの一級河川。河口部に広がる「殿町干潟」とヨシ原は臨海部で自然が残る数少ない場所。動物や植物などの生育・育成地として特に保全する必要がある区域として、「多摩川河川環境管理計画(国土交通省改訂)」において、生態系保持空間に位置付けられている。また、平成13年(2001年)に策定された「多摩川水系河川整備計画」にも定められている。平成16年(2004)2月、絶滅危惧種とされているアサクサノリが確認され、その後も河口域の豊かな自然環境が保たれている。
- 大師橋から下流、川崎側の堤防沿いの桜並木は、春には大勢の花見客で賑わう。大師橋やや下流からキングスカイフロント(旧いすゞ自動車工場跡地)にさしかかるあたりまで700~800m続く。地元ロータリークラブにより植樹され、地元殿町の町内会によって守り育てられてきた。

由来・エピソード

- かつて多摩川は、大雨の度に川が氾濫し、古くから「暴れ川」として知られていた。天正17~18年(1589~90)に続いた大洪水で川崎多摩区内の流路が北遷し、現在の位置となった。多摩川に架けられる橋は、洪水で頻りに押し流され、元禄から明治の初め頃まで、人々は渡し賃を払って舟で川を渡っていた。記録に残るだけでも約40の渡し場があったという。
- 江戸幕府の代官となった田中休愚は、現在の旭町から大師河原付近までの堤防改修工事も手掛け、現在の多摩川下流の堤防の基礎がつけられた。こうした休愚の功績は全国の治水工事にも大きな影響を与えたといわれている。
- 殿町干潟の辺りには豊富な餌があるため、多くの水鳥や渡り鳥が飛来し、神奈川県内でも数少ない野鳥観察のスポットとして知られる。また、東京湾沿岸の三番瀬や盤州干潟などとともに『東京湾の干潟・浅瀬』として、平成14年(2002)に発表された「日本重要湿地500」(環境省)に選定されている。かつて東京湾では奥部を囲むように干潟が広がっていたが埋立事業などによって約8分の1に減少。大師橋から下流約2kmにみられる殿町干潟も約0.45km²と、わずかに残る貴重な自然空間となった。現在では、絶滅危惧種のトビハゼやヤマトオサガニ、アシハラガニ、クロベンケイガニなど、多様な生物の生育が確認されていることに加えて、絶滅危惧種のアサクサノリの生育、東京湾から遡上する多くのアユなど話題を集めている。

補足・その他

- 大師河原1丁目には、多摩川河口域の自然環境や多摩川の歴史・文化、洪水等の防災情報を発信している「大師河原水防センター(愛称:大師河原干潟館)」があり、公共的団体と川崎市が協働で管理・運営し、自然観察会など環境学習への支援を行っている。
開催日など詳細→大師河原干潟館URL <http://www.tamagawahigata.net/>

関連シート

- (5-1)六郷の渡し・明治天皇の碑
- (14-2)水神社
- (14-3)法榮寺
- (14-6)多摩川スカイブリッジ
- (32-2)田中休愚

かわさき区の宝物シート

| | |
|-------|------------|
| 宝物No. | すいじんしゃ |
| 14-2 | 水神社 |



写真提供：NPO法人かわさき歴史ガイド協会

| | | | |
|-----|------|------|----|
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 殿町 | 日時 | |

| | | |
|----|----------------------------------------|----------------------------------|
| 目的 | <input checked="" type="checkbox"/> 観る | <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する |
| | <input type="checkbox"/> 食べる | <input type="checkbox"/> その他 |

| | | |
|------|--------------------------------------------|----------------------------------|
| 宝物定義 | <input type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> イベント・祭り |
| | <input type="checkbox"/> 味づくり | <input type="checkbox"/> にぎわい |
| | <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの | <input type="checkbox"/> 港めぐり |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの | <input type="checkbox"/> 人物 |

| | |
|--------|------------------------|
| 所在地 | 川崎区殿町2-1-20 |
| 問い合わせ | 若宮八幡宮 |
| TEL | 044-222-3206 |
| FAX | 044-233-3060 |
| E-mail | |
| URL | |
| 交通 | JR川崎駅よりバス「殿町二丁目」下車徒歩4分 |



基礎情報

- 創建は江戸時代で、新田開発が行われた大師河原・旧稻荷新田の村社として建立された。
- 御神体は灌漑用水の神「天津罔象女神(あまつみずはのめのかみ)」。境内右奥の道祖神「乳出地蔵尊」は子育ての神として地元の人々から篤い信仰を集めている。また、慶安元年(1648)に社領3石が与えられた徳川家光からの朱印状も残されている。

由来・エピソード

- 右手に花を持ち、左手に乳呑児を抱えている「乳出地蔵尊」は、頭にベールをかぶりマリア像にも似た異国の雰囲気漂わせている。石造りの神像彫刻としては非凡な作であり、川中島神明神社の赤子を抱く咳の神様「歳之神」の原型ともなった。
- かつては隣の法榮寺の境内に拝殿をつくり、農作物や海苔の豊作、豊漁が祈願された。また昭和のはじめ頃まではお日待の行事が10月5日に行われ、18歳以上の若衆頭の集まりが三日三晩続けられたという。

補足・その他

関連シート

- (10-3) 若宮八幡宮・若宮郷土資料室
- (10-22) 川中島神明神社
- (14-3) 法榮寺

かわさき区の宝物シート

| |
|-------|
| 宝物No. |
| 14-3 |

ほうえいじ 法榮寺

多摩川に浮かぶ
中洲「ねずみ島」



| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
|-----|------|------|----|
| | 殿町 | 日時 | |

| 目的 | <input checked="" type="checkbox"/> 観る | <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する |
|----|----------------------------------------|----------------------------------|
| | <input type="checkbox"/> 食べる | <input type="checkbox"/> その他 |

| 宝物定義 | <input type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> イベント・祭り |
|------|--------------------------------------------|----------------------------------|
| | <input type="checkbox"/> 味づくり | <input type="checkbox"/> にぎわい |
| | <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの | <input type="checkbox"/> 港めぐり |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの | <input type="checkbox"/> 人物 |



写真提供：NPO法人かわさき歴史ガイド協会

| 所在地 | 川崎区殿町2-1-19 |
|--------|----------------------|
| 問い合わせ | 法榮寺 |
| TEL | 044-266-0096 |
| FAX | 044-266-0096 |
| E-mail | |
| URL | |
| 交通 | 川崎駅よりバス「殿町二丁目」下車徒歩4分 |



基礎情報

- 正式名称は青龍山稲光院法榮寺。天台宗で水神社の別当である。本尊は秘仏といわれる薬師如来坐像。
- 仏教の六道の教えを六躰の地藏尊によってあらわした享保元年(1716)造立の六地藏の他、地藏菩薩や万霊塔などの石造物が祀られる。また、大師河原村校(現殿町小学校)の初めての教員となった明治の教育家・青山向岡(こうきょう)の墓碑がある。旧友らによって明治13年(1880)に建立されたものである。

由来・エピソード

- かつて田町河岸(現在の田町3丁目付近)には海苔漁師達の守護神(海苔弁天)として田町殿島神社が祀られ、別当は法榮寺であった。明治期、旧暦正月11日の例祭日になると、朝、お年寄りが法榮寺に御神体の弁天様を迎えに行き、リヤカーに乗せて町内を一巡後、殿島神社に安置してお祭りを行った。田町河岸の水面には笹竹を立て注連縄を張って御神酒が捧げられ、夕刻まで飲食をして楽しんだという。祭りが終わると再び法榮寺まで御神体をお送りして翌年の正月まで預けた。忙しい冬場の漁期、仕事を休んでの楽しいひと時であった。田町殿島神社は、昭和48年(1973)4月に川崎漁業協同組合が解散したことから、神社護持の後継者が途絶えるのを恐れた有志によって昭和61年(1986)若宮八幡宮内に遷座された。
- 法榮寺裏、多摩川の堤防に立つとやや下流に中洲状の「ねずみ島」と呼ばれる小さな島が見える。大正7年(1918)に着手された多摩川河口の改修工事以前は、殿町の土地はこの島のあたりまでひろがっていた。法榮寺の本堂は現在の堤防あたりにあり、墓地も水神社の裏手から多摩川に向かって真っ直ぐに伸びていた。内務省の多摩川治水河川改修計画は、殿町地域20万坪のうち10万坪を政府が買い上げて河川幅を拡げるといふもので、蛇行する流路を直流させ、付近の住家移転、梨・桃畑の果樹の移植を行い、大出水時の流水の障害物を除き被害を防ぐ大計画であった。
- 大洪水に苦しみ念願の堤防改修が実現するものの、先祖伝来の土地の半分を失う殿町の住民たちは、時の内務大臣で大師出身の鈴木喜三郎に殿町側だけでなく羽田側への拡幅を陳情したが、多摩川河川改修は日本国家百年の大計に基くものであると喜三郎は陳情を受け入れなかった。ただ、当初計画では現在の水神社・法榮寺前の道路まで開削される計画だったものが、現在の堤防の位置までと変更されたという。そして梨の成木が1本1円、土地も1坪1円で買い上げられた。最後まで買い上げに応じなかった殿町の地主の梨畑を残り周囲が2~3mの深さに掘られた。海潮が浸透し農作物が栽培出来なくなると放置され、やがて一面にアシが茂り、野ネズミのすみかとなったのが「ねずみ島」の由縁である。

補足・その他

| |
|--|
| |
|--|

関連シート

- (10-3)若宮八幡宮・若宮郷土資料室
- (10-6)田町殿島神社
- (14-2)水神社

かわさき区の宝物シート

| |
|-------|
| 宝物No. |
| 14-4 |

しりつとのまちしょうがっこうきょうどしりょうしつ 市立殿町小学校海苔・郷土資料室



| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
|-----|------|------|----|
| | 殿町 | 日時 | |

| 目的 | <input checked="" type="checkbox"/> 観る | <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する |
|----|----------------------------------------|----------------------------------|
| | <input type="checkbox"/> 食べる | <input type="checkbox"/> その他 |

| 宝物定義 | <input checked="" type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> イベント・祭り |
|------|--------------------------------------------|----------------------------------|
| | <input type="checkbox"/> 味づくり | <input type="checkbox"/> にぎわい |
| | <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの | <input type="checkbox"/> 港めぐり |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの | <input type="checkbox"/> 人物 |



| 所在地 | 川崎区殿町1-17-19 |
|--------|-----------------------------------------|
| 問い合わせ | 殿町小学校 |
| TEL | 044-266-4886 |
| FAX | 044-287-4053 |
| E-mail | |
| URL | |
| 交通 | 京急大師線小島新田駅より徒歩5分 川崎駅よりバス「殿町小学校前」下車すぐ |



基礎情報

■殿町小学校内には、海苔生産の道具などを展示する海苔資料室（4階）と、たんすなど大正期の市民の生活を伝える生活道具など保存した郷土資料室（2階）が常設されている。海苔資料室には、かつての地場産業の記憶を残すため、大正期の大師河原村の様子を伝える「べか舟」や海苔養殖を伝える道具類などが多数展示されている。また、海苔づくりの体験教室を4年生の児童を対象に年に一度行っている。

■見学は電話での事前申込が必要。

由来・エピソード

■多摩川河口から鶴見川河口にいたる川崎の遠浅の海は、海苔と貝類の良質な養殖場として発展してきた。多摩川からの淡水の微妙な混じり具合が「大師海苔」の風味を生んだといわれている。明治4年（1871）、大師河原の住民が国へ海面使用権を申請し認められた海苔養殖は、海苔は水温が低い冬季に生育することから農閑期の副業として開始された。次第に本業へと転換し大正10年（1921）頃には組合員500戸、1700人ももの地方からの出稼ぎ漁師を抱える一大産業となる。やがて川崎の工業都市化にともない埋立地の増加や水質悪化から次第に海苔養殖は衰退に向かい、昭和46年（1971）には漁業権を放棄、海苔養殖は終焉を迎えた。

■展示されている主な道具
海苔取り機/海苔裁断機・ノリノツメ/扇風機の羽根・ダルマストーブ/スダイ/ロクロ./ツキボウチョウ/ウミゲタ/ポータ・モモヒキ/ノリス洗い機/ベカブネ・カイ/自動海苔付け機/アカケエ/アバリ・メイタ/コンパス・航海灯/タケキリ・ツナグリ・セーオートシ/タテマンリキのマクラ/テッキンジメ・ツバノミ・ナタ/ナガシダイ・ノリス・シトダル/ノリゲタ/フリボウ・カイ・長柄ヒシヤク/マルザル・アライザル・カケゴ/ヤキイン・ナフダ/竹ヒビ・サンボンツメ/ポンプ・ウィンチ/唐箕/足踏み脱穀機/蛇腹など

補足・その他

■川崎大師平間寺境内には、大正9年（1920）に行われた大師海苔50周年記念の「のり供養祭」の記念碑が建っている。

関連シート

- (8-1) 田島郷土資料館(市立田島小学校)
- (10-3) 若宮八幡宮・若宮郷土資料室
- (10-17) 川崎大師平間寺
- (19-1) 「川崎漁業ゆかりの地」碑
- (19-3) 川崎の海苔づくり資料室

かわさき区の宝物シート

| |
|-------|
| 宝物No. |
| 14-5 |

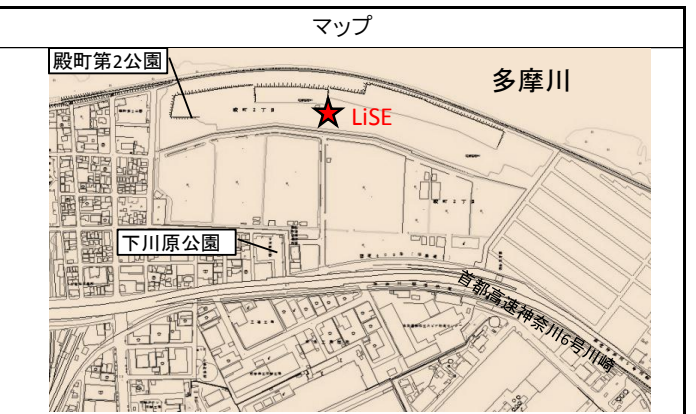
らいず(かわさきせいめいかがく・かんきょうけんきゅうせんとー) LiSE(川崎生命科学・環境研究センター)

| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
|-----|------|------|----|
| | 殿町 | 日時 | |



| 目的 | <input checked="" type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他 |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 宝物定義 | <input checked="" type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物 |

| 所在地 | 川崎区殿町3丁目25-13 |
|--------|------------------------------------------------------------------|
| 問い合わせ | 川崎市臨海部国際戦略本部 |
| TEL | 044-200-3738 |
| FAX | |
| E-mail | 59jigyo@city.kawasaki.jp |
| URL | http://kawasaki-lise.jp/contact.php (LiSE(川崎生命科学・環境研究センター)) |
| 交通 | 京急大師線「小島新田駅」から徒歩15分 首都高速「殿町IC」から車で約1分 J R「川崎駅(東口)」からバス約30分 |



※川崎市の承認を得て同市発行の都市計画基本図を複製したものです。
承認番号(川崎市指令ま計第159号)

基礎情報

- ライズ(LiSE)は、羽田空港に隣接した殿町地区において、ライフサイエンス・環境分野における研究開発から新産業を創出する殿町国際戦略拠点「キングスカイフロント」の中核施設の一つである。
- ライズ(LiSE)には、市の研究施設である「川崎市環境総合研究所」「川崎市健康安全研究所」や「川崎市キングスカイフロントマネジメントセンター」等の公共施設をはじめ、先端技術を有する研究機関・企業等の民間施設が入居した地上4階、塔屋1階の複合施設である。

由来・エピソード

- LiSE(ライズ)とは「川崎生命科学・環境研究センター(Life Science & Environment research center)」の略称である。
- 「産学公民の垣根を越えた研究者たちの相互交流」をテーマに、民間施設運営アドバイザーのサポート体制により、テナント支援・交流イベント企画・研究者交流アドバイス等を行っている。
- 4フロアから成っており、1Fにはキングスカイフロント内に立地する企業や研究機関を支援する「川崎市キングスカイフロントマネジメントセンター」、入居者が利用可能な最大収容人数100名の「大会議室」、社会福祉法人長尾福祉会とモトヤエクスプレスのコラボレーションによる“障がいのある方々と一緒に働く本格的なカフェ&レストラン”の「モトヤエクスプレス・フォルテ」がある。2Fには様々な健康危機管理に対応する施設である「川崎市健康安全研究所」、3Fには多様化・複雑化する環境問題に対応する「川崎市環境総合研究所」、4Fにはライフサイエンス分野の先端技術を有する民間の企業・団体が入居する「民間ラボ」がそれぞれ設けられている。

補足・その他

| |
|--|
| |
|--|

関連シート

| |
|--|
| |
|--|

かわさき区の宝物シート

| | |
|-------|-------------------|
| 宝物No. | たまたがわすかいぶりっじ |
| 14-6 | 多摩川スカイブリッジ |

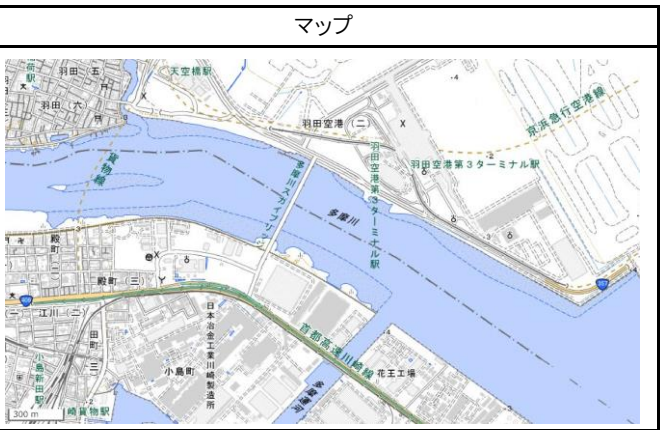
| | | | |
|-----|------|------|----|
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 殿町 | 日時 | |

| | | |
|----|----------------------------------------|-----------------------------------------|
| 目的 | <input checked="" type="checkbox"/> 観る | <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する |
| | <input type="checkbox"/> 食べる | <input checked="" type="checkbox"/> その他 |

| | | |
|------|-----------------------------------------------|----------------------------------|
| 宝物定義 | <input checked="" type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> イベント・祭り |
| | <input type="checkbox"/> 味づくり | <input type="checkbox"/> にぎわい |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 現代の文化的なもの | <input type="checkbox"/> 港めぐり |
| | <input type="checkbox"/> 歴史的なもの | <input type="checkbox"/> 人物 |



| | |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 所在地 | 川崎区殿町3丁目 |
| 問い合わせ | 建設緑政局広域道路整備室 |
| TEL | 044-200-0436 |
| FAX | 044-200-3979 |
| E-mail | 53koiki@city.kawasaki.jp |
| URL | https://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000097966.html (羽田連絡道路整備事業(多摩川スカイブリッジ)について) |
| 交通 | 京急大師線「大師橋駅」からバス約7分 京急大師線「小島新田駅」から徒歩約20分 首都高速「殿町IC」から車で約2分 JR「川崎駅(東口)」からバス約35分 |



出典：国土地理院ウェブサイト

基礎情報

- イノベーション創出と新産業創出・発信拠点である川崎区殿町にあるキングスカイフロントと羽田空港に隣接する羽田グローバルウイングズをつなぐ橋として令和4年3月12日に開通した。
- 道路延長約840m(橋梁延長約675m)、標準幅員17.3mと多摩川にかかる橋のなかで最も長く、最も下流に位置する橋梁である。車道のほか、人や自転車も通行できる歩道・自転車道が整備されている。
- 羽田空港に近く航空法による高さ制限があること、さらに河口の水平基調の景観との調和、橋上での開放感が体感できることなどを考慮して、橋梁形式には、鋼3径間連続鋼床版桁橋(複合ラーメン)を採用。環境への影響を最小限に抑えるため、河川内の橋脚を2基とした、国内最大の中央支間240mを有する複合ラーメン橋である。
- 桁高を抑えたシルエットを特長とし、また構造物等の突起物が少なく、鳥類の飛翔に配慮している。
- 高欄は、河口の水平基調の景観との調和などを考慮して横棧形式とし、照明は川面に極力光が漏れないよう低位置照明を採用、夜間に河川を照らすことによる生態系への影響を軽減している。
- 歩道部マウントアップ部を活用した鋼製排水溝を採用し、維持管理面に配慮しつつ、景観性の向上を図った。
- 橋梁の色彩には、多摩川と空に融和しながらも、存在感を感じさせる色が選定された。空・橋・河川の三層が印象的な光景を演出している。

由来・エピソード

- 工事中に発生した令和元年東日本台風の影響などにより、工事期間を1年延期したが、計画・設計・工事まで僅か8年とかがつないスピードで完成した。
- 名称は一般公募され、8,498件の応募があった。「多摩川兩岸の地域がつながり、空へ、世界へと発展していくようなイメージを抱きやすく、羽田空港に近接し、空が広く開放的に感じられる橋にふさわしい名称であり、また公募において多くの意見を頂いた「スカイブリッジ」が含まれ、地域から親しまれてきた象徴的な存在である「多摩川」の名前が入ることで、未永く多くの人々に愛着をもっていただけることが期待できる。」との理由により、「多摩川スカイブリッジ」が選ばれた。
- 建設地には、東京湾に残された貴重な多摩川河口干潟が広がるため、多くの生物が生息する、この生態系保持空間を守るため、送出し架設工法・張出し架設工法を選定し施工した。
- 生態系への配慮から「環境モニタリング計画」を策定し、モニタリング調査を継続実施することで、工事による影響を把握した。また、干潟の一部を浚渫するため、「干潟の保全・回復計画」を策定し工事後、復元を図った。
- 多摩川スカイブリッジは、多摩川河口の豊かな自然環境に最大限配慮し、維持管理性と景観性を両立させ、他には類を見ない橋梁美を実現したことなどを理由に令和3年度土木学会田中賞(作品部門)を受賞した。

補足・その他

- 2022年の川崎市ブランドメッセージのPRポスターに採用された。昇る朝日とともに映る橋は、広い空、広い海、そして、世界中の人と人を結ぶ未来につながる橋であり、川崎の可能性が未来に続いていくことを表現している。

関連シート

(14-1)多摩川(河口干潟・桜並木)

かわさき区の宝物シート

| |
|-------|
| 宝物No. |
| 15-1 |

たまちいなりじんじや
田町稲荷神社



| | | | |
|-----|------|------|----|
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 小島新田 | 日時 | |

| | | |
|----|----------------------------------------|----------------------------------|
| 目的 | <input checked="" type="checkbox"/> 観る | <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する |
| | <input type="checkbox"/> 食べる | <input type="checkbox"/> その他 |

| | | |
|------|--------------------------------------------|----------------------------------|
| 宝物定義 | <input type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> イベント・祭り |
| | <input type="checkbox"/> 味づくり | <input type="checkbox"/> にぎわい |
| | <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの | <input type="checkbox"/> 港めぐり |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの | <input type="checkbox"/> 人物 |



写真提供：NPO法人かわさき歴史ガイド協会

| | |
|--------|-----------------------|
| 所在地 | 川崎区田町2-3-5 |
| 問い合わせ | 若宮八幡宮 |
| TEL | 044-222-3206 |
| FAX | 044-233-3060 |
| E-mail | |
| URL | |
| 交通 | JR川崎駅よりバス「大師河原」下車徒歩4分 |



基礎情報

■御稲荷様（豊作を願う農業の神）を祀る神社。もともとは東門前駅の北方の清宝院（現・千蔵寺）にあった。

由来・エピソード

■新田開発の始まった寛永2年～延宝8年(1625～1680)の頃に、旧清宝院の敷地内に弁財天が祀られていたが、宝暦14年(1764)、豊作を祈る御稲荷様が左側に勧請された。昭和27年(1952)に現在地に遷座された。




■境内にある手洗石は延宝8年(1680)に奉納されたもので、市内最古のものであるという。

補足・その他

関連シート

(10-3) 若宮八幡宮・若宮郷土資料室
(10-6) 田町蔵島神社

かわさき区の宝物シート

| | | | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 宝物No. | でのいつくしまじんじゃ 出来野厳島神社 | | |   |
| 15-2 | | | | |
| エリア | 大師地区 小島新田 | シーズン 日時 | 通年 | |
| 目的 | <input checked="" type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他 | | | |
| 宝物定義 | <input type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代的文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物 | | | |
| 所在地 | 川崎区日ノ出2-6-3 | | |  |
| 問い合わせ | 若宮八幡宮 | | | |
| TEL | 044-222-3206 | | | |
| FAX | 044-233-3060 | | | |
| E-mail | | | | |
| URL | | | | |
| 交通 | JR川崎駅よりバス「日出町」下車徒歩4分 | | | |
| 基礎情報 | | | | |
| <p>■御祭神は市杵嶋比売神（イツクシマヒメノカミ）。かつては出来野弁財天と呼ばれた。寛永2年（1625）以降、池上幸広らによって進められた稲荷新田の開発後、住居や田畑、用水路が整った17世紀後半頃に、新開地の風水害からの御加護を祈念し勧請されたと考えられている。海苔養殖の守護神として崇められた。</p> | | | | |
| 由来・エピソード | | | | |
| <p>■神社の北側からは東京湾に向かって出来野川（堀）と呼ばれた水路が延び、海苔とりのベカ舟が係留される「出来野河岸」には海苔の干し場や名産の長十郎梨やイチジクが積まれていた。干潮時には2kmの沖合まで干潟がひろがり、海沿いの防潮堤には松並木が連なり、脇を大師線が走っていた。神社境内の銀杏の大木は大師の海を航行する漁船やベカ舟、回漕船の目印であったという。今は数本が残るのみだが、昔は森のように大木が並んでいた。奉納されている力石や塩で溶けた二基の庚申塔に漁業で栄えた往時がしのばれる。</p> <p>■昭和7年（1932）からの6年間、現在の塩浜操車場には「大師河原競馬場」が置かれていた。総面積28,760坪、観覧席数9,850。開催日には、大師線から海岸軌道（現・神奈川臨海鉄道）に乗り換え、競馬場前の臨時駅から繰り出す大勢の競馬ファンでにぎわった。周辺には駐車・駐輪場がなかったため、車やバイク、自転車の客の中には神社境内に停める者もいたという。</p> | | | | |
| 補足・その他 | | | 関連シート | |
| <p>■新田開発のために大師河原に移住してきた池上家二十一代幸広が、弟・七左衛門、小島六郎左衛門と協力して開墾したのが稲荷新田（現在の大師河原・殿町～日ノ出）で、七左衛門家（七稲荷組）、六郎左衛門家（六稲荷組）によって所領が分けられた。七稲荷新田に属した現在の日ノ出・出来野と昭和の一部が、後の字出来野耕地となったが、日ノ出（1～2丁目）が出来野の本村であった。耕地整理によって昭和11年（1936）に東の海上に昇る太陽にちなみ現町名に改称された。</p> | | | <p>(5-2)長十郎梨のふるさと (10-2)池言坊 (10-3)若宮八幡宮・若宮郷土資料室 (10-6)田町厳島神社</p> | |

かわさき区の宝物シート

宝物No.

15-3

いつくしま こせんきょう からのせんろぐんのけいかん

いつくしま跨線橋からの線路群の景観

| | | | |
|-----|------|------|----|
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 小島新田 | 日時 | |

| | | |
|------|-----------------------------------------------|----------------------------------|
| 目的 | <input checked="" type="checkbox"/> 観る | <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する |
| | <input type="checkbox"/> 食べる | <input type="checkbox"/> その他 |
| 宝物定義 | <input type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> イベント・祭り |
| | <input type="checkbox"/> 味づくり | <input type="checkbox"/> にぎわい |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 現代の文化的なもの | <input type="checkbox"/> 港めぐり |
| | <input type="checkbox"/> 歴史的なもの | <input type="checkbox"/> 人物 |



| | |
|--------|----------------|
| 所在地 | 川崎区小島町2～3丁目 |
| 問い合わせ | |
| TEL | |
| FAX | |
| E-mail | |
| URL | |
| 交通 | 京急大師線小島新田駅よりすぐ |



基礎情報

- いつくしま跨線橋は、かつて川崎の工場地帯を支え、経済産業発展の原動力となった貨物列車の線路群を一度に見ることができる、工業都市かわさきを象徴する貴重な鉄道風景である。
- 跨線橋の南側には、東海道本線貨物支線と神奈川臨海鉄道の浮島線・千鳥線・水江線が乗り入れる川崎貨物駅がある。4路線はいずれも貨物線であり、現在もコンテナ貨物などを取り扱う貨物列車が運行している。そのため、多くの鉄道ファンが写真撮影に訪れるポイントとなっているとともに、様々な映画やドラマのロケ地としても有名である。

由来・エピソード

- 日本に初めて鉄道が開業したのは明治5年(1872)である。その後、鉄道貨物輸送が始まると鉄道網が全国に拡大し、旅客・貨物両方において鉄道輸送は陸上輸送の主流となった。
- 鉄道の貨物輸送は、明治39年(1906)の鉄道国有化に伴う貨物駅の増加に端を発し、戦時中の軍需の増加、さらには太平洋戦争後における復興期の物流の増加へと、時代を経るごとに拡大し、輸送量は高度経済成長期の1970年代にピークを迎えた。
- 鉄道貨物は鉄道の開業以来、貨物を操車場で組替えながら貨車を継送し、各駅でも連結・離脱させるヤード輸送方式が主流であった。しかしこの方式では貨物到着までに日数を要するといった課題があり、1960年代以降の高速道路網や高規格の国道の整備に伴って、トラックによる輸送時間が飛躍的に短縮されると、徐々に鉄道貨物は衰退していった。
- このような背景を受けて、日本国有鉄道が貨物輸送体系を抜本的に見直した結果、ヤード輸送方式は全廃となり、それ以降はコンテナ貨車及び石油、化成品、セメント類などの物資適合貨車を主体とした拠点間直行輸送のみとなった。また、同時に数多くの貨物取り扱い駅が廃止され、多くの専用線も使命を終えた。現在では、神奈川臨海鉄道4路線のうち水江線は線路保守が主目的の1両運転の機関車(単機)の1往復のみしか運行しておらず、その他は乗務員のハンドルのための列車が不定期に運転されているのみである。

補足・その他

関連シート

(28-1) 港湾施設(埋立地)

かわさき区の宝物シート

| | |
|-------|---------------|
| 宝物No. | しおはましんめいじんじや |
| 16-1 | 塩浜神明神社 |



写真提供：NPO法人かわさき歴史ガイド協会

| | | | |
|-----|-------|------|----|
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 塩浜・夜光 | 日時 | |

| | | |
|----|----------------------------------------|----------------------------------|
| 目的 | <input checked="" type="checkbox"/> 観る | <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する |
| | <input type="checkbox"/> 食べる | <input type="checkbox"/> その他 |

| | | |
|------|--------------------------------------------|----------------------------------|
| 宝物定義 | <input type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> イベント・祭り |
| | <input type="checkbox"/> 味づくり | <input type="checkbox"/> にぎわい |
| | <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの | <input type="checkbox"/> 港めぐり |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの | <input type="checkbox"/> 人物 |

| | |
|--------|------------------------|
| 所在地 | 川崎区塩浜2-7-10 |
| 問い合わせ | 若宮八幡宮 |
| TEL | 044-222-3206 |
| FAX | 044-233-3060 |
| E-mail | |
| URL | |
| 交通 | JR川崎駅よりバス「塩浜営業所」下車徒歩2分 |



基礎情報

■御祭神は天照皇大神。1670年代（四代将軍家綱の時代）に創建。幕末から明治にかけてはコレラが猛威をふるい、その際に村の女性が髪を切って奉納・祈願し、神明社の加護によって難を逃れることができたと伝えられる。拝殿内には明治19年(1866)に塩浜の人々が感謝し奉納したという大きな扁額が飾られており、神明社の御神徳と氏子の崇敬を表す貴重な証となっている。

由来・エピソード

■江戸の開府にともなって徳川家は、軍事上、上方からの塩の途絶をおそれ、江戸湾岸の諸村に塩田開発を奨励し、塩の生産がはじめられるようになった。大師河原村では寛文11年(1671)に塩浜新田村が創立し、鎮守として塩浜神明社が創建された。本殿の石製厨子には延宝7年(1679)の銘があり「新田鎮守」と記されていることから、この年に勧請されたとみられている。

■拝殿内には、創建時に納められたお礼の額が掲げられている。社殿の四周に飾られている「高砂」をはじめ、慶事に関わる花鳥などの彫刻は一見の価値がある。

■『江戸名所図会・川崎汐浜』には、「その地、風光甚だ佳景なり」と謳われ、穏やかな波間に帆かけ舟が浮かび、寄州のヨシ原の間を小舟が行き交い、白砂が続く松並木のあいだから塩焼場の煙がたちのぼる様が描かれている。

補足・その他

■「塩浜」とは全国的にも多く見られる地名であり、かつては川崎の海岸部にも小田、渡田、大島（浜町）、池上新田などに塩浜の地名があったが、現在町名として残っているのは、ここ大師河原の塩浜のみである。

関連シート

(10-3)若宮八幡宮・若宮郷土資料室
(16-2)塩釜神社

かわさき区の宝物シート

| | |
|-------|-------------|
| 宝物No. | しおがまじんじや |
| 16-2 | 塩釜神社 |



| | | | |
|-----|-------|------|----|
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 塩浜・夜光 | 日時 | |

| | | |
|----|----------------------------------------|----------------------------------|
| 目的 | <input checked="" type="checkbox"/> 観る | <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する |
| | <input type="checkbox"/> 食べる | <input type="checkbox"/> その他 |

| | | |
|------|--------------------------------------------|----------------------------------|
| 宝物定義 | <input type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> イベント・祭り |
| | <input type="checkbox"/> 味づくり | <input type="checkbox"/> にぎわい |
| | <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの | <input type="checkbox"/> 港めぐり |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの | <input type="checkbox"/> 人物 |

| | |
|--------|------------------------|
| 所在地 | 川崎区塩浜2-7-6 |
| 問い合わせ | 若宮八幡宮 |
| TEL | 044-222-3206 |
| FAX | 044-233-3060 |
| E-mail | |
| URL | |
| 交通 | JR川崎駅よりバス「塩浜営業所」下車徒歩2分 |



基礎情報

■御祭神は塩土老翁（シオツチノオジ）の神。安産の神として名高いが、この地域では寛文11年(1671)に始まった製塩業の守護神として信仰を集めた。創建は不明だが、神明神社と同時期とみられている。

由来・エピソード

■地名の「塩浜」はその名の通り、製塩業が盛んであったことを示している。大師河原塩浜は江戸内湾では今の千葉県市川市行徳に次ぐ塩田地帯であったという。川崎における製塩業は江戸幕府の政策として行われ、最盛期には33軒の釜家を数えた。

■大師河原など江戸湾で製産された塩は「地廻塩」と呼ばれ江戸や生産地の近郊などで消費されたが、やがて瀬戸内海で製産される「下り塩」が江戸市中では主流となるに至った。また塩浜の行商人は直接船で江戸まで塩を運び売っていたが、享保9年(1724)に幕府は地廻塩問屋の間屋株仲間を公認し、塩浜からの直売を禁止し問屋の保護を図ったことなどから地廻塩は苦境に立っていくことになる。塩釜神社の狛犬は台座に刻まれている江戸の地廻塩問屋連によって奉納されたものである。

■明治38年(1905)の塩専売法、同43年(1910)の製塩地整理法によって大師河原の塩田は不良塩田として整理されることになったが、再生塩業のみは存続を許可され昭和30年代まで続けられた。

■安産の神様として近所の人たちはお参りをしている。

補足・その他

| |
|--|
| |
|--|

関連シート

| |
|---------------------|
| (10-3)若宮八幡宮・若宮郷土資料室 |
| (16-1)塩浜神明神社 |

かわさき区の宝物シート

| |
|-------|
| 宝物No. |
| 16-3 |

やかたぶね 屋形船



昭和30年頃の長八河岸(上)と長八橋銘板

写真提供：船宿 長八／倉形泰造氏

| | | | |
|-----|-------|------|-----|
| エリア | 大師地区 | シーズン | 夏・冬 |
| | 塩浜・夜光 | 日時 | |

| | | |
|----|------------------------------|---------------------------------------------|
| 目的 | <input type="checkbox"/> 観る | <input checked="" type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する |
| | <input type="checkbox"/> 食べる | <input type="checkbox"/> その他 |

| | | |
|------|-------------------------------------|------------------------------------------|
| 宝物定義 | <input type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> イベント・祭り |
| | <input type="checkbox"/> 味づくり | <input checked="" type="checkbox"/> にぎわい |
| | <input type="checkbox"/> 現代的な文化的なもの | <input checked="" type="checkbox"/> 港めぐり |
| | <input type="checkbox"/> 歴史的なもの | <input type="checkbox"/> 人物 |

| | |
|--------|----------------------------|
| 所在地 | 川崎区塩浜3-19-3 |
| 問い合わせ | 船宿 長八 (長八海運(株)) |
| TEL | 044-266-3128 |
| FAX | 044-276-4044 |
| E-mail | yoyaku@chohachi.co.jp |
| URL | http://www.chohachi.co.jp/ |
| 交通 | JR川崎駅より送迎バスあり |



基礎情報

■京浜工業地帯の一角、夜光運河にある船宿。長八棧橋から出船する計4隻の屋形船による風情あふれる周遊コースが魅力。「横浜ベイブリッジコース」「東京お台場コース」「隅田川コース」の3コースが用意されている。所要時間は3時間。

■周遊コースの料理は、天ぷら、刺身、おにぎり、味噌汁などがひと通り揃い、お酒とソフトドリンクは飲み放題。料理とお酒に舌つづみを打ちながら、ひとときの屋形船の旅が満喫できる。カラオケも完備し、新年会や忘年会、歓送迎会、お花見、花火大会鑑賞などに最適。

由来・エピソード

■長八では釣り船の営業も行っており江戸前の魚釣りが楽しめる。乗合船は7時30分出船、16時帰港。東扇島沖の全長3,340mの長大な防波堤「川崎新堤」は潮通しのよい好漁場として評判が高い。貸し竿、貸し道具も完備し、仕立て船(10名～)や天ぷら船(15名～)あり。また、年間を通じて東京湾遊漁船協同組合主催の白キスやカレイ等の各種江戸前つり大会が開催されており、長八でも随時参加を募集している。

■夜光地区がまだ埋め立てられる以前、大師の海の家養殖がまだ全盛だった頃、現在の道路あたりが海岸線で付近は「長八河岸」と呼ばれるベカ舟の溜まり場となっていた。現在の川崎ゴルフセンター(練習場)の辺は長八瀬と呼ばれる入り江が入りこみ、上には長八橋が架かっていた。この橋の名をとって戦後の昭和25年(1950)に海苔養殖の傍ら釣り船の営業をはじめたという。昭和47年(1972)の漁業権放棄後は釣り船、屋形船のみの営業となった。長八海運として港湾工事関係にも従事している。

■川崎ゴルフセンターは漁業権放棄時の漁業者の転業支援のためつくられた施設であり、陸にあがった漁業者たちによって共同経営が行われた。

補足・その他

- 年中無休。周遊コース1名10,000円(20名以上)
- 釣り船4隻、屋形船4隻(50人乗各1隻 70人乗2隻)
- 川崎駅・鶴見駅との無料送迎専用大型バスあり(40人乗、時間その他応相談)。

関連シート

- (19-1)「川崎漁業ゆかりの地」碑
- (19-3)川崎の海苔づくり資料室

かわさき区の宝物シート

| |
|-------|
| 宝物No. |
| 16-4 |

やこうちくいったいのちめいのゆらいせつめいのあんないばん 夜光地区一帯の地名の由來說明の案内板

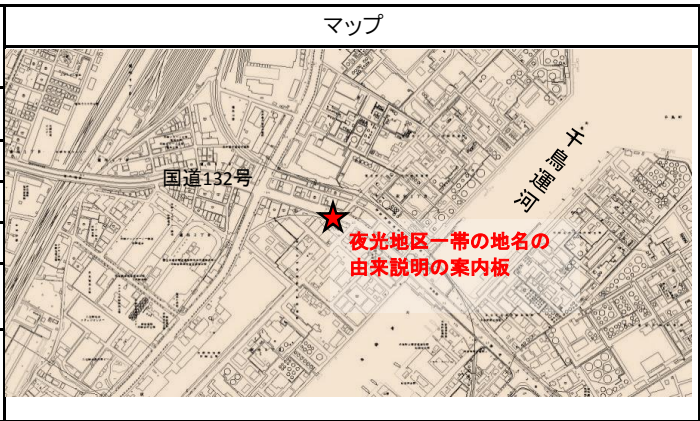
| | | | |
|-----|-------|------|----|
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 塩浜・夜光 | 日時 | |

| | | |
|----|------------------------------|-----------------------------------------|
| 目的 | <input type="checkbox"/> 観る | <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する |
| | <input type="checkbox"/> 食べる | <input checked="" type="checkbox"/> その他 |

| | | |
|------|--------------------------------------------|----------------------------------|
| 宝物定義 | <input type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> イベント・祭り |
| | <input type="checkbox"/> 味づくり | <input type="checkbox"/> にぎわい |
| | <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの | <input type="checkbox"/> 港めぐり |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの | <input type="checkbox"/> 人物 |



| | |
|--------|------------------------------------------------------------------|
| 所在地 | 川崎区夜光二丁目3番1号 (JXエネルギー 川崎製造所) |
| 問い合わせ | NPO法人かわさき歴史ガイド協会 |
| TEL | 044-221-9117 |
| FAX | 044-221-9117 |
| E-mail | |
| URL | |
| 交通 | 市営バス 川 04系統「市営埠頭」行き、川 05系統 「東扇島循環」行き 「JXエネルギー前」または「千鳥町北」下車 |



※川崎市の承認を得て同市発行の都市計画基本図を複製したものです。
承認番号(川崎市指令ま計第159号)

基礎情報

- 昭和56年(1981)、川崎大師平間寺発祥にまつわる「夜光町」の町名の由来を後世に伝えようと、川崎市観光協会と夜光町町内会(現在は解散)、日本石油化学(現・JXエネルギー)が案内板を設置した。その後、平成24年(2012)、案内板の隣に立てた木製の碑が腐食により傾いていたため、案内板は共に撤去された。
- 平成26年(2014)、大開帳奉修の年に合わせ、平間寺と川崎大師観光協会によって、案内板は再建されることとなった。

由来・エピソード

- 「川崎大師平間寺発祥の伝説」は次のとおり、言い伝えられている。
- 平安時代、漁師として川崎に暮らしていた平間兼乗は、夢の中で高僧の声を聞き、らんらんと光る夜の海から高僧の彫った弘法大師像を引き上げたという。兼乗は像を「厄除弘法大師」として祀り、平間寺を建立。像の上がった海の周辺は「夜光島」として呼び伝えられ、現在の町名につながっている。

補足・その他

- 「夜光」の町名の由来には、「不知火の松」という言い伝えも残されている。伝承によると、夜光町が浜辺だった頃、大師河原村に父と娘の二人暮らしの漁師がいたそうだ。ある日、父が漁に出ると、風が吹き荒び、次第に吹雪になってしまった。娘は、沖にいる父に村の場所を知らせるために、浜辺の松のそばで松明を振りつづけた。翌朝、浜辺には、松明を握り締めたまま息絶えた娘と、痛々しい姿で浜に打ち上げられた父の姿があった。漁師たちは、親子の亡骸を松の下にねんごろに葬って墓をたて、漁の無事を祈るようになった。やがて、夜になると松に灯がとまり、沖にいる漁師たちに村の場所を知らせるようになったという。

関連シート

(10-16)川崎大師平間寺

かわさき区の宝物シート

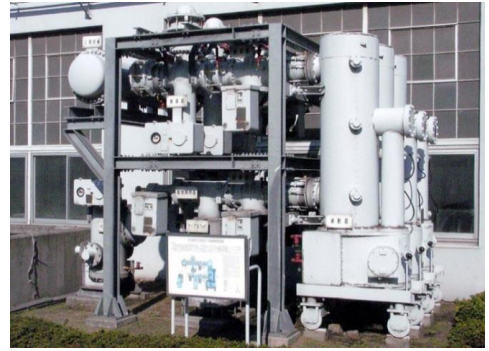
| |
|-------|
| 宝物No. |
| 17-1 |

がすぜつえんかいへいそうち(とうしばはえねるぎーしすてむずまかわさきこうじょう) ガス絶縁開閉装置(東芝エネルギーシステムズ浜川崎工場)

| | | | |
|-----|------|------|----|
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 浮島 | 日時 | |

| | | |
|----|----------------------------------------|----------------------------------|
| 目的 | <input checked="" type="checkbox"/> 観る | <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する |
| | <input type="checkbox"/> 食べる | <input type="checkbox"/> その他 |

| | | |
|------|-------------------------------------------|----------------------------------|
| 宝物定義 | <input checked="" type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> イベント・祭り |
| | <input type="checkbox"/> 味づくり | <input type="checkbox"/> にぎわい |
| | <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの | <input type="checkbox"/> 港めぐり |
| | <input type="checkbox"/> 歴史的なもの | <input type="checkbox"/> 人物 |



写真提供：東芝エネルギーシステムズ(株)浜川崎工場

| | |
|--------|-----------------------------------|
| 所在地 | 川崎区浮島町2-1 |
| 問い合わせ | 東芝エネルギーシステムズ(株)浜川崎工場 |
| TEL | 044-288-6203 |
| FAX | 044-270-1450 |
| E-mail | |
| URL | |
| 交通 | JR川崎駅よりバス「東芝エネルギーシステムズ浜川崎工場前」下車すぐ |



基礎情報

- 東芝エネルギーシステムズ(株)浜川崎工場で保存されている日本で初めて実用化された7万2千ボルトGIS（ガス絶縁開閉装置）。東京電力西堀変電所で約30年使用されていた。
- GISは、電力の安定供給に必要なシステム。優れた絶縁性能を持つ六フッ化硫黄（SF₆）ガスを封入した、安全かつコンパクトな構造が特徴である。変電所の敷地を大幅に縮小したり、ビル等の地下に設置する場合に、なくてはならない電気設備である。

由来・エピソード

- ガス絶縁開閉装置（GIS）は、(株)東芝の電力部門が昭和39年(1964)に将来の電力需要の増加と大都市給電体制の整備を予見し、超縮小形変電所の実現のため研究を開始したもので、昭和42年(1967)には、優れた絶縁性能を持つ六フッ化硫黄（SF₆）ガスを封入した安全かつコンパクトな試作器を完成し、翌年には長期課通電試験を経て製品化した。
- 日本最初の実用GISとして、昭和44年(1969)3月東京電力西堀変電所にて運転を開始し、28年間商用運転に供された。平成8年(1996)3月をもって、無事そのエネルギー輸送の役目を終え誕生の地に展示されている。

補足・その他

- 六フッ化硫黄（SF₆）ガスはCO₂などと同じく、温室効果ガスの一種でもあるため、(株)東芝では国際的な動向を把握しながら使用量の削減に積極的に取り組むとともに、機器を分解する時は真空状態まではSF₆ガスを回収し、大気放出をしない配慮をしている。国内の超高压級「(27万5千ボルト)」開閉装置にGISが適用されてから、すでに約40年が経過。この間、ガス遮断器（GCB）の1点切り化や全三相一括化「(すべてのGISの構造機器に於いて、それぞれ三相分を1つの容器に収納すること)」など、常に技術進歩が図られ、さらなる小型化と高電圧大容量化と高信頼度化が進められてきている。電気需要の将来の増加に備え、100万ボルトGISの実証試験も東京電力にて1994年から行われている。

関連シート

- (6-3)無尽灯型街路灯
- (17-2)高電圧・大電力試験所
(東芝エネルギーシステムズ浜川崎工場)

かわさき区の宝物シート

| |
|-------|
| 宝物No. |
| 17-2 |

こうでんあつ・だいでんりよくしけんじょ(とうしばはえねるぎーしすてむずまかわさきこうじょう)
高電圧・大電力試験所(東芝エネルギーシステムズ浜川崎工場)

| | | | |
|-----|------|------|----|
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 浮島 | 日時 | |

| | | |
|----|----------------------------------------|----------------------------------|
| 目的 | <input checked="" type="checkbox"/> 観る | <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する |
| | <input type="checkbox"/> 食べる | <input type="checkbox"/> その他 |

| | | |
|------|-------------------------------------------|----------------------------------|
| 宝物定義 | <input checked="" type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> イベント・祭り |
| | <input type="checkbox"/> 味づくり | <input type="checkbox"/> にぎわい |
| | <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの | <input type="checkbox"/> 港めぐり |
| | <input type="checkbox"/> 歴史的なもの | <input type="checkbox"/> 人物 |



左からインパルス電圧発生器、試験用変圧器、密閉型直流発生器

写真提供：東芝エネルギーシステムズ(株)浜川崎工場

| | |
|--------|-----------------------------------|
| 所在地 | 川崎区浮島町2-1 |
| 問い合わせ | 東芝エネルギーシステムズ(株)浜川崎工場 |
| TEL | 044-288-6203 |
| FAX | 044-270-1450 |
| E-mail | |
| URL | |
| 交通 | JR川崎駅よりバス「東芝エネルギーシステムズ浜川崎工場前」下車すぐ |



基礎情報

■東芝エネルギーシステムズ(株)浜川崎工場の高電圧・大電力試験所は、600万ボルトインパルス発生器や230万ボルト密閉型試験用変圧器など世界的にも有数の高電圧・大電力試験設備を有している。市民からも「雷発生装置」として親しまれている。

由来・エピソード

■ISO/IEC17025に適合する試験所として日本適合性認定協会(JAB)から認定されており、技術・品質・設備能力とも世界トップクラスの試験所といえる。高電圧・大電力の技術は、電力に限らず、医療、航空、宇宙、電子機器などさまざまな分野での応用が図られている。

補足・その他

関連シート

(6-3)無尽灯型街路灯
 (17-1)ガス絶縁開閉装置(東芝エネルギーシステムズ浜川崎工場)

かわさき区の宝物シート

| | | | |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----|
| 宝物No. | うみかぜのもり(うきしまちようこうえん:かわさきくしみんけんこうのもり) | | |
| 17-3 | 海風の森(浮島町公園:川崎区市民健康の森) | | |
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 浮島 | 日時 | |
| 目的 | <input type="checkbox"/> 観る <input checked="" type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他 | | |
| 宝物定義 | <input type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input checked="" type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 港めぐり <input type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物 | | |



| | |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 所在地 | 川崎区浮島町12-7 |
| 問い合わせ | 川崎区役所道路公園センター(公園施設) 川崎区役所まちづくり推進部地域振興課 (市民健康の森) |
| TEL | 044-244-3206 (道路公園センター) 044-201-3136 (地域振興課) |
| FAX | 044-201-3209 (地域振興課) |
| E-mail | 61tsin@city.kawasaki.jp (地域振興課) |
| URL | http://www.city.kawasaki.jp/61/61kusei/home/umikaze/index.htm (川崎区役所/海風の森HP) |
| 交通 | JR川崎駅よりバス「浮島町公園入口」下車徒歩2分 |



基礎情報

- 東京湾に面し、川崎の最東端に位置する臨海部のオアシスの公園。隣接して浮島つり園がある。上空には羽田空港から飛び立つジャンボジェット機、海の彼方には房総の山々を望むことができる。昭和40年(1965)7月29日開園、面積22,639㎡。
- 「川崎区市民健康の森」に指定され、市民活動グループ「海風の森をMAZU(まず)つくる会」によって熱心な花壇の植え付けや樹木の剪定など森づくりが行われている。また、早咲きで有名な「河津桜」の植樹も行われ、1月下旬頃から咲く桜が楽しめる。
- 平成17年(2005)には風力発電装置の風車3基が設置され、公園の新たな見どころとして注目されている。

由来・エピソード

- 横浜ベイブリッジより延長された東京湾岸道路と東京湾アクアラインが合流する地点を真近に臨む新しい観光名所。川崎市で海が望めるスポットとして、また臨海部の森の復活を感じることのできる貴重なエリアとしても注目を集めている。
- 「川崎市市民健康の森」とは川崎市の各区に1ヶ所公園を整備する市の事業。市民と行政のパートナーシップのもとで緑の回復と保全、創出を図り、市民の憩いの広場をつくるもの。川崎区では、平成11～12年度に40名の市民・団体・公募委員等からなる「川崎区市民健康の森構想検討委員会」を設け、候補地の選定やコンセプトづくり、ゾーニング検討などを行い、管理運営組織として「海風の森をMAZU(まず)つくる会」が結成された。
- 平成17年(2005)5月に風力発電装置と淡水ビオトープが初披露された。ビオトープ池は、雨水を貯めている淡水の池で、水生昆虫がすみ水生植物が茂っている。夏にはいろいろな種類のトンボが集まってくる。

補足・その他

関連シート

- (17-4)浮島つり園
- (17-5)東京湾アクアライン・風の塔

かわさき区の宝物シート

| |
|-------|
| 宝物No. |
| 17-4 |

うきしまつりえん
浮島つり園



| | | | |
|-----|------|------|----|
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 浮島 | 日時 | |

| | | |
|----|------------------------------|---------------------------------------------|
| 目的 | <input type="checkbox"/> 観る | <input checked="" type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する |
| | <input type="checkbox"/> 食べる | <input type="checkbox"/> その他 |

| | | |
|------|------------------------------------|------------------------------------------|
| 宝物定義 | <input type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> イベント・祭り |
| | <input type="checkbox"/> 味づくり | <input type="checkbox"/> にぎわい |
| | <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの | <input checked="" type="checkbox"/> 港めぐり |
| | <input type="checkbox"/> 歴史的なもの | <input type="checkbox"/> 人物 |

| | |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 所在地 | 浮島町500番地先 |
| 問い合わせ | 川崎市港湾局川崎港管理センター港営課 |
| TEL | 044-287-6034 |
| FAX | |
| E-mail | 58kouei@city.kawasaki.jp |
| URL | http://www.city.kawasaki.jp/580/page/0000001640.html |
| 交通 | JR川崎駅よりバス「浮島町公園入口」下車徒歩5分 |



基礎情報

- 浮島町公園（海風の森）に隣接する全長240mのつり園。24時間入園可能（夜間照明あり）で初心者でも気軽に海釣りに挑戦できる。なおエサ、釣具等の販売・貸出しはしていない。
- 羽田空港上空を離着陸するジャンボジェット機を間近に見ることができ、東京湾の彼方には房総の山々を望むことができる。

由来・エピソード

- 足場は良いが安全柵の高さが50cm程と低いので注意が必要。
- 四季折々の魚種
 - 春： サヨリ、ウミタナゴ、シロギス、イシモチ、サツパ
 - 夏： ハゼ、シロギス、イシモチ、小アジ
 - 秋： ハゼ、シロギス、ボラ、小アジ、クロダイ
 - 冬： アイナメ、カレイ、ボラ

補足・その他

- 駐車場がないため交通手段は公共交通機関を利用のこと。また近くに食堂、売店もないため昼食等はあらかじめ持参した方がよい。

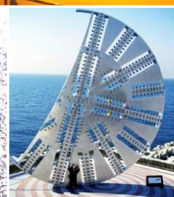
関連シート

- (19-6) 東扇島西公園
- (28-1) 港湾施設(埋立地)

かわさき区の宝物シート

| |
|-------|
| 宝物No. |
| 17-5 |

とうきょうわんあくあらいん・かぜのとう 東京湾アクアライン・風の塔



写真提供：東京湾アクアライン管理事務所

| | | | |
|-----|------|------|----|
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 浮島 | 日時 | |

| | | |
|------|-------------------------------------------|------------------------------------------|
| 目的 | <input type="checkbox"/> 観る | <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する |
| | <input type="checkbox"/> 食べる | <input checked="" type="checkbox"/> その他 |
| 宝物定義 | <input checked="" type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> イベント・祭り |
| | <input type="checkbox"/> 味づくり | <input type="checkbox"/> にぎわい |
| | <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの | <input checked="" type="checkbox"/> 港めぐり |
| | <input type="checkbox"/> 歴史的なもの | <input type="checkbox"/> 人物 |

| | |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 所在地 | 川崎区浮島町～千葉県木更津市 |
| 問い合わせ | NEXCO東日本（東日本高速道路株式会社） 東京湾アクアライン管理事務所 |
| TEL | 0438-42-0091 |
| FAX | 0438-42-0095 |
| E-mail | |
| URL | http://www.umihotaru.com/index/index.asp （東京湾観光ポータルサイト「海ほたるネット」） |
| 交通 | 川崎駅よりバスで「浮島バスターミナル」下車 |



基礎情報

■東京湾アクアラインは、川崎区と千葉県木更津市を約15分で結ぶ片側2車線・延長15.1kmの一般有料道路。東京湾内で多くの大型船舶が往来する川崎側の9.6km区間は「アクアトンネル」と呼ばれる世界最大級の海底道路で、最深部は海面下60mにもおよぶ。木更津側の4.4km区間は「アクアブリッジ」と呼ばれる海上橋。平成9年(1997)12月に供用が開始された。通行料金は3,090円（普通車）。

■川崎港浮島の沖合約5km、水深約28mの海域に造られた直径約100m、深さ75mの川崎人工島には、「風の塔」と名付けられた大小2つの白いトンネル換気塔が建つ。海ほたる側の大塔が吸気塔、川崎側の小塔が排気塔。川崎マリエンからも眺望することができる。2つの塔を設けた理由は、大塔と小塔の間に吹くビル風同様の強い風を換気力の一部として利用するためといい、風力学原理を応用したまさに「風の塔」である。

由来・エピソード

施設概要

【アクアトンネル】 上下線にそれぞれ1本づつ計2本のトンネルがあり、世界最大級の直径14.14mの大断面シールドマシン（TBM：トンネルボーリングマシン）を使って掘削された。前面にたくさんのツメがついたカッターフェイスを回転させ、土を削り後方でトンネルの壁をつくっていく。「シールド工法」は、木材を食べながら後ろを殻で固めていくフナクイムシの幼虫をヒントに、1818年にフランス人技師ブルネルが発明した工法。「海ほたる」には実際に使われたシールドマシンと同じ直径の開通記念モニュメントが置かれている。

【アクアブリッジ】 途中で航路が設けられている関係で、航路部分が海面上約40mの高さまで盛り上がる形状となっていることや、長い区間をまたぐ橋桁を採用しているのが特徴。

【川崎人工島「風の塔」】 アクアトンネル中央部に位置する円形の川崎人工島は、直径約200mと東京ドームがすっぽり入る大きさ。一般の人が立ち入ることはできない。海底面下約30mが軟弱地盤層であったため、サンドコンパクション工法等により地盤改良がなされ、護岸や足場となる鋼製ジャケットが設置された。鋼製ジャケットの間に地中連続壁を施工し、内側に人工島本体となるコンクリート構造物が造られた。海底トンネルの施工時にはシールドマシンの発進基地となった。多数の船舶が行き来する海上であるため、風の塔は量感があり視認性に優れたデザインが採用された。大塔の高さは90m（海面上96m）で、ニューヨークの自由の女神とほぼ同じ高さ。

【木更津人工島「海ほたる」】 アクアトンネルとアクアブリッジの接点となっている全長約650mの木更津人工島には、5階建てのパーキングエリアとなっている。1～3階は上り・下り専用に分かれた駐車場、4・5階にはレストラン、ショップがある。

補足・その他

■世界で最も長い海底トンネルは、本州・北海道を結ぶ鉄道専用の青函トンネル（53.8km）でアクアトンネルの5倍以上の長さを持つが、自動車が通行できるトンネルとしてはアクアトンネルが世界最長。

■東日本高速道路株式会社は、日本道路公団の分割・民営化に伴い、東日本地域の高速道路の管理・建設事業と同時に、サービスエリア・パーキングエリア事業及び新たな事業を行う会社として平成17年(2005)10月1日に発足。平成18年度からは「NEXCO（ネクスコ）東日本」という新たなブランドネームが名付けられた。

関連シート

(19-2)川崎マリエン

かわさき区の宝物シート

| |
|-------|
| 宝物No. |
| 17-6 |

かわさきだいきぼたいようこうはつでんしょ(めがそーらーはつでん) 川崎大規模太陽光発電所(メガソーラー発電)

| | | | |
|-----|---------|------|----|
| エリア | 大師～田島地区 | シーズン | 通年 |
| | 浮島、扇島 | 日時 | |

| | | |
|------|-------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 目的 | <input type="checkbox"/> 観る | <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する |
| | <input type="checkbox"/> 食べる | <input checked="" type="checkbox"/> その他 |
| 宝物定義 | <input checked="" type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> イベント・祭り |
| | <input type="checkbox"/> 味づくり | <input type="checkbox"/> にぎわい |
| | <input type="checkbox"/> 現代的文化的なもの | <input type="checkbox"/> 港めぐり |
| | <input type="checkbox"/> 歴史的なもの | <input type="checkbox"/> 人物 |



(浮島太陽光発電所)

| | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 所在地 | 川崎区浮島町、扇島 |
| 問い合わせ | かわさきエコ暮らし未来館 (川崎区浮島町509-1浮島処理センター内) |
| TEL | 044-223-8869 |
| FAX | 044-287-9604 |
| E-mail | |
| URL | http://eco-miraikan.jp/ (かわさきエコ暮らし未来館) |
| 交通 | かわさきエコ暮らし未来館 JR川崎駅より市営・臨港バス「03系統浮島バスターミナル行き」に乗り、終点「浮島バスターミナル」下車徒歩約10分 |



基礎情報

- 川崎大規模太陽光発電所は、浮島町及び扇島に太陽光発電所を設置する事業である。これは、川崎市と東京電力の共同事業で、浮島では川崎市の所有地約11ヘクタールの10ヘクタール、扇島では東京電力の所有地約23ヘクタールのうち20ヘクタールの太陽光パネルが敷き詰められている。それぞれ出力は約7,000キロワット、約13,000キロワットであり、合計出力2万キロワットの太陽光発電所である。平成22年(2010)4月に現地着工し、浮島は平成23年(2011)8月10日運転開始。扇島は同年12月に運転開始している。
- この太陽光発電の稼働により、一般家庭の約5,900軒分に相当する約2,100万キロワット時の年間使用電力量の発電が見込まれており、それによるCO2排出量削減効果は一般家庭約1,700軒分に相当する年間約8,900トンとなっている。
- 浮島太陽光発電所に隣接する市浮島処理センター内に、太陽光発電などについて、体験的に学べる環境学習施設「かわさきエコ暮らし未来館」が、平成23年(2011)8月6日に開館しており、隣の施設の展望スペースからは浮島太陽光発電所の眺望もきる(予約制)。

由来・エピソード

- メガソーラー発電とは、出力1,000キロワット(=1メガワット)程度以上の規模を有する太陽光発電に対する総称。設置には相応の敷地面積が必要であり、目安として1メガワットあたり1.5~2ヘクタール程度とされている。
- ヨーロッパを中心に海外ではメガソーラー発電所の建設が活発化している。国内でも、平成20年(2008)9月に電気事業連合会により「2020年度までに電力10社合計で約30地点・14万キロワットを導入」という『メガソーラー導入計画』が発表された。これに基づき、東京電力、関西電力、中部電力など各電力会社は、これまでに各地で合計9万キロワット以上の計画を発表している。川崎区浮島町及び扇島で平成23年度運転開始のメガソーラー発電もこれに含まれ、大阪府堺市ではすでに関西電力によりメガソーラー発電の運転が開始されている。
- 日本のメガソーラーも太陽光発電ビジネスの一つとして成長することが期待されており、低炭素社会の実現に向けた取組として注目を集めている。
- ただし、太陽光をはじめとする再生可能エネルギーについては純国産で発電中にCO2を排出しないが、高コスト、天候に左右され出力が安定しない、エネルギー密度が低いなどの課題もある。

補足・その他

- 川崎市では、現在「カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略」として地球温暖化対策を進めており、公共施設への太陽光発電設備の設置や住宅用太陽光発電設備の設置補助など、低炭素社会の実現に向け、先導的な役割を担うべく取り組みを行っている。

関連シート

- (28-1) 港湾施設(埋立地)
- (28-2) 川崎港・運河

かわさき区の宝物シート

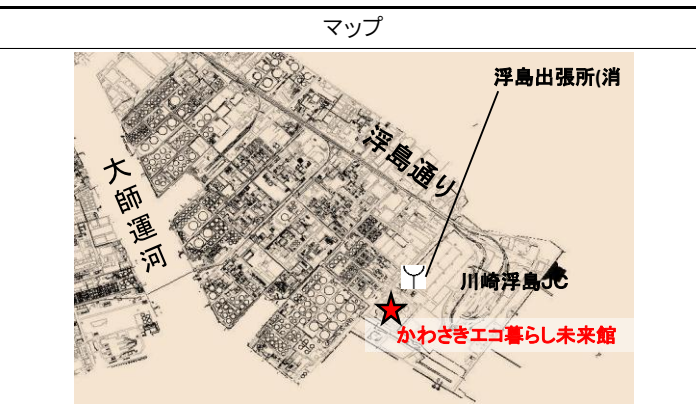
| | |
|-------|---------------------|
| 宝物No. | かわさきエコ暮らしみらいかん |
| 17-7 | かわさきエコ暮らし未来館 |

| | | | |
|-----|------|------|----|
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 浮島 | 日時 | |

| | |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目的 | <input checked="" type="checkbox"/> 観る <input checked="" type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他 |
| 宝物定義 | <input checked="" type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物 |



| | |
|--------|-----------------------------------------------------------------|
| 所在地 | 川崎市浮島町509番-1 浮島処理センター内 |
| 問い合わせ | かわさきエコ暮らし未来館 |
| TEL | 044-223-8869 |
| FAX | 044-287-9604 |
| E-mail | |
| URL | https://eco-miraikan.jp/ |
| 交通 | JR川崎駅より川03系統バス「浮島バスターミナル行き」で「浮島バスターミナル」下車徒歩10分 |



※川崎市の承認を得て同市発行の都市計画基本図を複製したものです。
承認番号（川崎市指令ま計第159号）

基礎情報

■地球の環境や川崎の環境を、見るだけでなく、触って体験できる学習施設として、また、川崎市の環境教育の普及啓発に大きな役割を果たす施設として、平成23年(2011)8月6日に開館した。

由来・エピソード

■「かわさきエコ暮らし未来館」は地球温暖化、再生可能エネルギー、資源循環の3つのテーマを中心に、環境を守るためにはどうしたらよいかを具体的に体験しながら楽しく学べる施設である。

■1階は「ガイダンスゾーン」となっており、川崎の航空写真、浮島太陽光発電所の発電量表示モニター、浮島太陽光発電所や周辺の施設を見ることのできる定点カメラ、市内の環境に配慮した施設マップなどが設けられている。それらにより、川崎市では環境についてどのような取り組みがなされているのかということについて学ぶことができる。

■2階は展示スペースとなっており、「地球温暖化チャレンジゾーン」、「再生可能エネルギーゾーン」、「資源循環チャレンジゾーン」の3つのゾーンに分かれている。それぞれのゾーンは、地球温暖化対策、太陽光発電などの再生可能エネルギー、3Rなどの資源循環について、見て・聞いて・触って学ぶことのできるスペースとなっている。

■3階には団体見学時の休憩室として昼食等にも利用可能な定員140名の研修室と定員25名の会議室が設けられている。

■同じ敷地内に、自由見学（事前予約制）ではないが、浮島太陽光発電所（メガソーラー）、浮島処理センター及び資源化処理施設が立地している。

補足・その他

【開館時間】9:00～16:30
 【休館日】毎週月曜日・年末年始(※月曜日が祝日の場合は、翌日が休館日)
 【見学方法】自由見学（無料）

関連シート

(17-6)川崎大規模太陽光発電所(メガソーラー発電)

かわさき区の宝物シート

宝物No.

18-1

かぶしがいいしやじえら かわさきかりよくはつでんしょ 株式会社JERA 川崎火力発電所

| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
|-----|-------|------|----|
| | 千鳥・水江 | 日時 | |

| 目的 | <input checked="" type="checkbox"/> 観る | <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する |
|----|----------------------------------------|-----------------------------------------|
| | <input type="checkbox"/> 食べる | <input checked="" type="checkbox"/> その他 |

| 宝物定義 | <input checked="" type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> イベント・祭り |
|------|-------------------------------------------|------------------------------------------|
| | <input type="checkbox"/> 味づくり | <input type="checkbox"/> にぎわい |
| | <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの | <input checked="" type="checkbox"/> 港めぐり |
| | <input type="checkbox"/> 歴史的なもの | <input type="checkbox"/> 人物 |



昭和36年～47年、当時の東京電力では最大の石炭火力発電所。手前運河側に大きな貯炭場が見える。

昭和48年～平成18年、日本初となったナフサ焼き火力、さらにLNGへと燃料転換を果たす。

写真提供：東京電力フュエル&パワー株式会社

| 所在地 | 川崎区千鳥町5-1 |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問い合わせ | 株式会社JERA 川崎火力発電所 広報グループ |
| TEL | 044-576-3400 |
| FAX | |
| E-mail | ks-kouhou@jera.co.jp |
| URL | https://www.jera.co.jp/business/thermal-power/list/kawasaki/ (株式会社JERA HP) |
| 交通 | JR川崎駅よりバス「東電前」下車徒歩7分 |



基礎情報

- 昭和36(1961)年に東京電力最大の石炭火力発電所として誕生し、その後、時代の要請に応える形で石炭、ナフサ、LNGと燃料転換を行い、その当時の最新技術を積極的に取り入れ、首都圏や京浜コンビナートへ電力供給してきた。
- 平成19(2007)年には、40年以上運転してきた1～6号機に替わり、電力需要増大への対応と地球温暖化対策に貢献するため、二酸化炭素(CO2)発生量の少ない、コンバインドサイクル発電(ガスタービン発電と汽力発電を組み合わせた発電方式で、ガスタービンとガスタービンの排ガスの熱を回収して蒸気を発生させ蒸気タービンを回し、二つの力で発電する)を採用し、リニューアル。川崎火力の1号系列1～3軸および2号系列1軸に導入したMACC(More Advanced Combined Cycle)は、燃焼ガス温度1500℃・熱効率(※)約59%を達成し、従来の蒸気利用による汽力発電方式と比べ、燃料使用量・CO2排出量ともに約25%削減できる発電方式となっている。(※燃料のもっているエネルギーを100とした時どれだけの電気エネルギーとして取り出したかを表す数値が高いほどよい。)
- 平成21(2009)年2月から、これら高効率発電プロセスで抽出される蒸気を近隣コンビナート地区の工場10社に供給する日本初、国内最大級の蒸気供給事業を行っている。
- 平成28(2016)年1月・6月に運転開始した2号系列2、3軸(MACCⅡ)は燃焼ガス温度1600℃・熱効率約61%を達成し、燃料使用量・CO2排出量ともに約30%削減。発電出力342万kWの発電所となり、熱効率は世界最高水準になった。
- 平成31(2019)年4月より東京電力フュエル&パワー株式会社より株式会社JERAに事業が移管した。
- 現在、川崎火力発電所はベース電源として環境・安全・防災の各方面に万全の対策を施し、地球に優しい火力発電所として電気の安定供給に努めている。

由来・エピソード

- 空気を汚さないため、LNGを燃料とすることでSOxや煤塵の発生がなく、NOxも低NOx燃焼器、高効率脱硝装置を採用し低減に努めている。
- 約28万㎡の広い発電所構内(東京ドーム6個分)に、総面積の約1/4の7万㎡が緑地化され、サクラ、ツバキ、サツキ、キョウチクトウ、ムラサキシキブなど約14000本の様々な樹木が植えられている。

補足・その他

- 企業・団体、学校関係の見学・視察を受入可能。次のURLを参照。
URL:<https://www.jera.co.jp/kawasaki-sitevisit>
- 株式会社JERAは、東京電力フュエル&パワー株式会社と中部電力株式会社の出資(出資比率は、50%ずつ)により平成27(2015)年4月30日設立。

関連シート

- (18-5)川崎スチームネット(蒸気供給用配管)
- (19-5)株式会社JERA東扇島火力発電

かわさき区の宝物シート

| | |
|-------|------------------|
| 宝物No. | にぶんのいっとはんまー |
| 18-2 | 1/2トンハンマー(近藤鉄工所) |

| | | | |
|-----|-------|------|----|
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 千鳥・水江 | 日時 | |

| | |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目的 | <input checked="" type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他 |
| 宝物定義 | <input checked="" type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物 |



写真提供：(株)近藤鉄工所

| | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 所在地 | 川崎区水江町6-14 |
| 問い合わせ | (株)近藤鉄工所 |
| TEL | 044-288-0681 |
| FAX | 044-288-0682 |
| E-mail | |
| URL | http://www.netlaputa.ne.jp/~kiw/ |
| 交通 | JR川崎駅からバス「水江町」下車徒歩2分 |



基礎情報

■昭和29年(1954)製、1/2トンエアハンマー(ベッヘ型)は、(株)近藤鉄工所において銅・チタンなど非鉄金属の鍛造に使用されている大型ハンマー。鍛造とは、「鍛=きたえる」、「造=形を造る」の字のとおり金属を叩いて形を整えながら強くすること。例えば「刀鍛冶」は金属を炉で加熱し、真っ赤に焼いたものを叩いて刀の形を造っていく。これが近代化したのが現在の「自由鍛造業」で、最近では形を造るだけでなく、金属塊の泡や気孔を圧着させ結晶粒を微細化することで金属組織を改善することを目的とする場合もある。

由来・エピソード

■昭和5年(1930)大田区羽田で創業し、昭和34年(1959)に川崎区日ノ出町に移転して(株)近藤鉄工所を設立。昭和47年(1972)に750トン油圧プレスと1/2トンエアハンマーが増設された。平成13年(2001)に現在の水江町・川崎ゼロ・エミッション工業団地に移転した。水江町は埋立地で軟地盤であったため、通常は地下15m位のところを60mまでボーリングし、72本の杭を打ち込み地盤を安定させてからハンマー装置を設置したという。

■鍛造には、金属を炉で熱して叩く「熱間鍛造」と加熱せず常温で行う「冷間鍛造」があり、この1/2トンハンマーは熱間鍛造に使用される。ハンマーでの鍛造作業は5人1組で行い、加熱処理した金属部材を反しながら1分間に100回ほど打ち付けて成型していく。

■鍛造の歴史は古く、紀元前4000年前よりエジプトやメソポタミアで自然産の金、銀、銅を叩き、装飾品や武器などが造られたのが始まりといわれる。その後、主に武器の製造とともに鍛冶の技術も発達し、日常生活の道具や農耕具が鍛造によって造られるようになった。現在、鍛造品は主に一般産業プラント部品、電力部品、半導体部品、航空機や船舶、身近なものでは刃物類やゴルフクラブなど、様々な場所や物に使われている。鍛造はひとつの貴重な製法として確立されている。

補足・その他

- 操業に支障のない範囲で見学可能(要事前申込)。
- 近藤鉄工所は、異業種間の連携によって排出物の再利用と再資源化、エネルギーの有効利用を進めている資源循環型「川崎ゼロ・エミッション工業団地」の一員となっている。

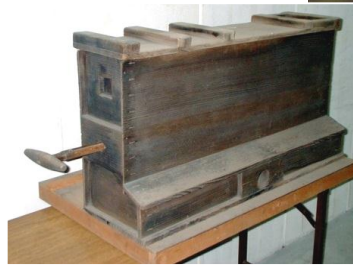
関連シート

- (18-3)ふいご(近藤鉄工所)
- (18-4)川崎ゼロ・エミッション工業団地

かわさき区の宝物シート

| |
|-------|
| 宝物No. |
| 18-3 |

ふいご(近藤鉄工所)



写真提供：(株)近藤鉄工所

| | | | |
|-----|-------|------|----|
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 千鳥・水江 | 日時 | |

| | | |
|----|----------------------------------------|----------------------------------|
| 目的 | <input checked="" type="checkbox"/> 観る | <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する |
| | <input type="checkbox"/> 食べる | <input type="checkbox"/> その他 |

| | | |
|------|-------------------------------------------|----------------------------------|
| 宝物定義 | <input checked="" type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> イベント・祭り |
| | <input type="checkbox"/> 味づくり | <input type="checkbox"/> にぎわい |
| | <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの | <input type="checkbox"/> 港めぐり |
| | <input type="checkbox"/> 歴史的なもの | <input type="checkbox"/> 人物 |

| | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 所在地 | 川崎区水江町6-14 |
| 問い合わせ | (株)近藤鉄工所 |
| TEL | 044-288-0681 |
| FAX | 044-288-0682 |
| E-mail | |
| URL | http://www.netlaputa.ne.jp/~kiw/ |
| 交通 | JR川崎駅からバス「水江町」下車徒歩2分 |



基礎情報

■(株)近藤鉄工所では、創業時から40年ほど前のボイラー設備の導入までの間、ハサミなどの鍛造に木製のふいご(炉の火力を高めるための送風機)が使用されていた。ふいごは、機械・金属加工工業、すなわちかつての鍛冶屋業にとって「護り神」的な存在であり、通常は倉庫に大切に保管されているが、年に一度の「ふいご祭」では神事に供される。

由来・エピソード

■同社の木製のふいご(鞆)は「吹差ふいご(または箱差ふいご)」と呼ばれるもので、風の分配を均等にするため箱底部に特殊な工夫が施され、柄を押し下ったり引いたりすることによって常に風が送られる仕組みになっている。

■川崎大師駅前の金山神社(若宮八幡宮)の祭神は金山比古神・金山比売神の二神。もともとは鍛冶屋の神で、社殿内部には鍛冶屋の作業場が再現されふいごや炉が置かれている。毎年11月8日、近藤鉄工所では工場・従業員安全、災厄消除、商売繁昌などを祈願する「ふいご祭」を執り行っている。工場内に設けた祭壇には神酒が供えられ、若宮八幡宮から招いた宮司が祝詞を詠み上げた後に参加者全員によって玉ぐしがささげられる。

補足・その他

■操業に支障のない範囲で見学可能(要事前申込)。

関連シート

(10-5)金山神社・金山神社郷土資料室
 (18-2)1/2トンハンマー(近藤鉄工所)
 (18-4)川崎ゼロ・エミッション工業団地

かわさき区の宝物シート

| |
|-------|
| 宝物No. |
| 18-4 |

かわさきゼロ・エミッションこうぎょうだんち 川崎ゼロ・エミッション工業団地



| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
|-----|-------|------|----|
| | 千鳥・水江 | 日時 | |

| 目的 | <input checked="" type="checkbox"/> 観る | <input checked="" type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する |
|------|-------------------------------------------|---------------------------------------------|
| | <input type="checkbox"/> 食べる | <input type="checkbox"/> その他 |
| 宝物定義 | <input checked="" type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> イベント・祭り |
| | <input type="checkbox"/> 味づくり | <input type="checkbox"/> にぎわい |
| | <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの | <input type="checkbox"/> 港めぐり |
| | <input type="checkbox"/> 歴史的なもの | <input type="checkbox"/> 人物 |



写真提供：川崎ゼロ・エミッション工業団地協同組合

| 所在地 | 川崎区水江町6 |
|--------|--------------------------|
| 問い合わせ | 川崎市経済労働局国際経済推進室 |
| TEL | 044-200-2313 |
| FAX | 044-200-3920 |
| E-mail | 28keisu@city.kawasaki.jp |
| URL | |
| 交通 | JR川崎駅からバス「水江町」下車徒歩2分 |



基礎情報

■「ゼロ・エミッション」とは、生産活動によって生じる排出物の全てを有効活用することで「廃棄物ゼロ」を目指す取り組み。その目標を実現するための新しいタイプの「資源循環型工業団地」が水江町の京浜運河沿いの一角に誕生した。平成14(2002)年度から本格的に稼働がはじまり、製紙工場やメッキ工場、鉄工所、冷凍倉庫など、それぞれ明確な環境基本方針を持つ企業が操業している。製造工程の再編成を行い、個々の工場・事業所が排出抑制を行うとともに、業種間で連携し互いの排出物の再利用と再資源化、エネルギーの有効利用が効率的・継続的に進められている。

■リサイクル資材を使用し環境に配慮した建築工法によって完成した川崎エコタウン会館では、パネル展示による情報発信や、工業団地の視察受入等を行っている。平成17年からは夏休みの間、小学生親子を対象とする牛乳パックを利用した紙漉き体験（はがきづくり）教室・工場団地見学会が開催され好評を博している。海外からも多くの視察団が訪れている。見学には事前の電話予約が必要。

由来・エピソード

■川崎臨海部は、多くのものづくり企業と港湾・鉄道・運河など物流とエネルギー拠点が集積し、すでに異業種間のインフラを活用するネットワークが構築されている。この特徴を活かして、川崎市は臨海部約2800haを対象エリアとする「川崎エコタウン構想」を推進し、その中核事業として位置付けられたのが「川崎ゼロ・エミッション工業団地」である。異業種中小企業の連携を通じて、資源循環や廃棄物再生、余剰エネルギーの有効利用、水資源活用、CO2 排出削減などが実践されている。

■コアレックス三栄(株)の製紙工場はコアレックス・グループの進出企業5社の出資によって完成した世界初のゼロ・エミッション型工場である。ミックスペーパー（紙ごみ）やラミネート包装紙、紙コップ、機密文書類などの「難再生古紙」を原料としてトイレトペーパーを生産している。水は市内からの高度処理水が再利用され、特にクリップや止め金具が含まれる機密文書類も未開封のまま箱ごと溶解される。不純物は自動選別され、うち金属物は製鉄所に送られ、残りは高温で焼却。このときの熱による蒸気をトイレトペーパーの乾燥に利用、残った焼却灰はセメント会社へと送られる。発生する汚水は最新鋭の浄化槽「WWTタワー」で処理、放流される。なお、工場外でも、建物外壁の緑化や天然ガス自動車による搬送、循環水を利用したため池など、資源を余すことなく活用した工夫が施されている。

補足・その他

■「エコタウン計画」とは経済産業省・環境省が推進するゼロ・エミッション構想実現のための補助事業。平成19年(2007)8月現在、全国で26地域のエコタウン事業が承認されている。川崎市は長野県飯田市、岐阜県可児市、北九州市とともに平成9年度に承認されたエコタウンの第1号である。

■川崎ゼロ・エミッション工業団地への進出企業（平成28年(2016)3月現在：50音順）
 (株)アクトワンヤマイチ/朝日工業(株)川崎事務所/朝日工業(株)京浜工場/大沢工業(株)/コアレックス三栄(株)/コアレックス信栄(株)/コアレックス道栄(株)/(株)近藤鉄工所/(株)サン・アルゲン/(株)三光精工/隅田冷凍工業(株)/(株)成松屋/(株)ナミキ/広井建設工業(株)/(株)ユタカ工事

関連シート

- (18-2)1/2トハンマー(近藤鉄工所)
- (18-3)ふいご(近藤鉄工所)
- (28-1)港湾施設(埋立地)

かわさき区の宝物シート

| | | | |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----|
| 宝物No. | かわさきぎょぎょうゆかりのちひ | | |
| 19-1 | 「川崎漁業ゆかりの地」碑 | | |
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 東扇島 | 日時 | |
| 目的 | <input checked="" type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他 | | |
| 宝物定義 | <input checked="" type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物 | | |



| | | |
|--------|-------------------------------|------------|
| 所在地 | 川崎区東扇島 東扇島北公園内 | <p>マップ</p> |
| 問い合わせ | 港湾局川崎港管理センター港営課 | |
| TEL | 044-287-6034 | |
| FAX | 044-287-6038 | |
| E-mail | 58kouei@city.kawasaki.jp | |
| URL | | |
| 交通 | JR川崎駅から市バス40分 「東扇島北公園入口」下車 | |

基礎情報

■昭和46年(1971)に漁業権を放棄し、解散した川崎漁業協同組合の記念碑が東扇島の海底トンネル出口付近の上に建っている。「伊予石」という銘石が使われ、昭和60年(1985)に建立された。傍には「川崎の漁業百年の歩み」が刻まれた碑が並び、歴代の組合長16名と解散時の全組合員131名の名前が記されている。

由来・エピソード

■昔、このあたりは「大師の海」と呼ばれた遠浅の海が広がり、県内最大、東京湾内でも有数の海苔養殖場であった。大正年間には多くの漁師で賑わったと言われている。多摩川が運ぶ豊富な養分に恵まれた大師の海は、品質の良い海苔や貝がたくさん採れ、特に海苔は「大師海苔」として全国に知られていた。

■昭和に入って海面は順々に埋め立てられ、大規模な工場や石油コンビナートが建設されて海の様子は一変した。昭和48年(1973)、さらに大規模な埋め立て工事によって漁場は失われ、川崎の漁業はその歴史の幕を閉じることになった。

補足・その他

■殿町小学校の海苔資料室や若宮八幡宮の郷土資料室には、海苔養殖を伝える漁具や道具類、文献資料などが展示されている。

■川崎大師平間寺境内には、大正9年(1920)に行われた大師海苔50周年記念の「のり供養祭」の記念碑が建つ。

関連シート

(10-3)若宮八幡宮・若宮郷土資料室
 (14-4)市立殿町小学校海苔・郷土資料室
 (16-3)屋形船
 (19-3)川崎の海苔づくり資料室
 (28-1)港湾施設(埋立地)
 (28-2)川崎港・運河

かわさき区の宝物シート

| | | | |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----|
| 宝物No. | かわさきまりえん | | |
| 19-2 | 川崎マリエン | | |
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 東扇島 | 日時 | |
| 目的 | <input type="checkbox"/> 観る <input checked="" type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他 | | |
| 宝物定義 | <input type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input checked="" type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 港めぐり <input type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物 | | |



写真提供：(公社)川崎港振興協会

| | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------|
| 所在地 | 川崎区東扇島38-1 |
| 問い合わせ | (公社)川崎港振興協会 |
| TEL | 044-287-6000 |
| FAX | 044-287-7922 |
| E-mail | |
| URL | http://www.kawasakiport.or.jp |
| 交通 | JR川崎駅より川05系統バス「東扇島循環」で「川崎マリエン前」下車 徒歩1分 |



基礎情報

- 港と市民を結ぶアメニティ・スポット。正式名称は川崎市港湾振興会館。国際貿易港である川崎港のシンボル。港を一望できる高さ51mの展望室や、ビーチコート、テニスコート、体育室、バーベキュー場、スカイレストランなどの施設がある。
- 平成17年(2005)10月に夜光2丁目の千鳥運河で発見されたホオジロザメの剥製が、交流棟1Fのコミュニティホールに展示されている。体長約4.8メートル、胴回り約2メートル、体重は約1.1トンでオスとしては世界最大級の剥製標本。

由来・エピソード

- 平成4年(1992)、市民のための港づくりを推進していくために建設された。愛称の「マリエン」とは、マリ(海)とエントランス(玄関)から成る造語。その名の示す通り、世界に広がる海の玄関をイメージした凱旋門型のユニークな外観が印象的である。業務棟、交流棟とタワー棟、屋外施設からなる。
- 地上51mの展望室からは川崎港、東京湾、アクアライン、房総半島までのパノラマの絶景が楽しめる。スカイレストラン「フロンティア」は客席数81席、ダイナミックな川崎港の眺望と充実したメニューのランチを楽しむことができる。
- 交流棟1階のマリエンシアターは100席の座席が設置され、川崎港紹介映像などが上映されている。また、交流棟2階には友好港であるベトナム・ダナン港から寄贈された漁舟「ゲイバウ」が展示されている。またフロアには、かつて「のり養殖」を行っていた市民から寄贈された道具類も展示されている。
- 毎年10月上～中旬にはマリエンを中心会場に「川崎みなと祭り」が開催される。

補足・その他

- 開館時間は午前9時～午後9時、年末年始(12/29～1/3)は休館。
- 展望室は入場無料。駐車場は24時間オープン、1時間未満の使用は無料。

関連シート

- (19-3)川崎の海苔づくり資料室
- (19-4)川崎みなと祭り
- (28-1)港湾施設(埋立地)
- (28-2)川崎港・運河

かわさき区の宝物シート

| |
|-------|
| 宝物No. |
| 19-3 |

かわさきののりづくりしりょうしつ 川崎の海苔づくり資料室

| | | | |
|-----|------|------|----|
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 東扇島 | 日時 | |

| | | |
|----|------------------------------|---------------------------------------------|
| 目的 | <input type="checkbox"/> 観る | <input checked="" type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する |
| | <input type="checkbox"/> 食べる | <input type="checkbox"/> その他 |

| | | |
|------|--------------------------------------------|------------------------------------------|
| 宝物定義 | <input type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> イベント・祭り |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 味づくり | <input type="checkbox"/> にぎわい |
| | <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの | <input checked="" type="checkbox"/> 港めぐり |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの | <input type="checkbox"/> 人物 |



写真提供：(公社)川崎港振興協会

| | |
|--------|-----------------------------------|
| 所在地 | 川崎区東扇島38-1 (川崎マリエン2F) |
| 問い合わせ | (公社)川崎港振興協会 |
| TEL | 044-287-6000 |
| FAX | 044-287-7922 |
| E-mail | |
| URL | |
| 交通 | JR川崎駅より川05系統バス「東扇島循環」で「川崎マリエン前」下車 |



基礎情報

■平成23年(2011)2月から「川崎の海歴史保存会」より寄贈された海苔づくりの道具等を展示している。

由来・エピソード

■多摩川河口から鶴見川河口にいたる遠浅の海は「大師の海」と呼ばれ、魚貝類が豊富に採れる漁場として発展してきた。のり養殖は、明治4年(1871)大師河原地区の漁師が国から海面使用权を得て開始された。「のり」は水温の低い冬季に成育し、採取することから、初期は農閑期の副業として始められたが、次第に本業へと転換し、昭和9年(1934)頃には、400世帯の漁師と地方からの出稼ぎの人も手伝いに来ていた。

■やがて川崎が工業都市化していくなかで、埋立地の増加、水質の悪化から次第に漁業は衰退へと向かい、昭和47年(1972)には漁業権は放棄され、川崎の漁業は終焉を迎えることとなった。

かつての地場産業を残そうと、「川崎の海の歴史保存会」が保存展示していたのり養殖に関する伝統道具を川崎港振興協会が寄贈を受け、平成23年(2011)2月1日に「川崎の海苔づくり資料室」としてリニューアルオープンした。

■展示内容

川崎の漁業の歴史を説明するパネルや、べか舟、網ひび・竹ひび(模型)、のり下駄、振り棒、棒抜きがま、せい(藤壺落とし)、摘採機、まるざる、洗いざる、のり簀(す)、のり付け台(のり樽)、のり乾かし枠、のり切り機などを展示している。

補足・その他

関連シート

- (10-3)若宮八幡宮・若宮郷土資料室
- (14-5)市立殿町小学校海苔・郷土資料室
- (16-3)屋形船
- (19-1)「川崎漁業ゆかりの地」碑
- (19-2)川崎マリエン
- (28-1)港湾施設(埋立地)
- (28-2)川崎港・運河

かわさき区の宝物シート

| | | | |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|
| 宝物No. | かわさきみなとまつり | | |
| 19-4 | 川崎みなと祭り | | |
| エリア | 大師地区 | シーズン | 秋 |
| | 東扇島 | 日時 | 10月上～中旬 |
| 目的 | <input type="checkbox"/> 観る <input checked="" type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他 | | |
| 宝物定義 | <input type="checkbox"/> ものづくり <input checked="" type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input checked="" type="checkbox"/> にぎわい <input checked="" type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物 | | |



写真提供：川崎みなと祭り実行委員会

| | |
|--------|--------------------------------------------|
| 所在地 | 川崎区東扇島38-1 |
| 問い合わせ | 川崎みなと祭り実行委員会事務局 (川崎港振興協会内) |
| TEL | 044-287-6011/6007 |
| FAX | 044-287-6012 |
| E-mail | |
| URL | |
| 交通 | JR川崎駅より川05系統バス「東扇島循環」で 「川崎マリエン前」下車 徒歩1分 |



基礎情報

■「みんなの川崎港」をテーマに、川崎市、川崎商工会議所、川崎港振興協会が主催する毎年秋に行われる祭り。昭和49年(1974)から始まった。川崎マリエン及びその周辺、東扇島公園を会場にして、趣向を凝らした様々なイベントが催される。

由来・エピソード

■川崎マリエン会場では、ステージイベントやわんぱくコーナー、バザールコーナー、キャンペーンコーナーなどを企画、実施。東公園会場では、海のスポーツ体験イベントや稚魚放流など。家族で楽しめる催しが満載。川崎港内ミニクルーズは事前応募制イベント。

補足・その他

| |
|--|
| |
|--|

関連シート

- (19-2)川崎マリエン
- (19-3)川崎の海苔づくり資料室
- (28-1)港湾施設(埋立地)
- (28-2)川崎港・運河

かわさき区の宝物シート

| |
|-------|
| 宝物No. |
| 19-5 |

かぶしきがいしゃじえら ひがしおうぎしまかりよくはつでんしょ
株式会社JERA東扇島火力発電所

| | | | |
|-----|------|------|----|
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 東扇島 | 日時 | |

| | |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目的 | <input type="checkbox"/> 観る <input checked="" type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他 |
| 宝物定義 | <input checked="" type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代的文化的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 港めぐり <input type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物 |



写真提供：東京電力東扇島火力発電所

| | |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 所在地 | 川崎区東扇島 3 |
| 問い合わせ | 株式会社JERA 東扇島火力発電所 |
| TEL | 044-576-4000 |
| FAX | |
| E-mail | |
| URL | https://www.jera.co.jp/business/thermal-power/list/higashiogashima |
| 交通 | JR川崎駅より車で30分または 首都高速湾岸線・東扇島出口より約5分 |



基礎情報

- 東扇島火力発電所は、神奈川県内にある5つの火力発電所の一つで、川崎港沖合いに昭和46年(1971)から49年(1974)にかけて造成された人工島「東扇島」の北西端に位置する。
- 昭和59年(1984)に東京電力初となる自前のLNG燃料基地が誕生し、隣接する川崎、横浜火力発電所へと、海底パイプラインでガスの供給が開始された。
- その後、敷地内に東扇島火力発電所が完成し、発電機の1号機(100万kW)が昭和62年(1987)に、2号機(100万kW)が平成3年(1991)に運転を開始した。
- 平成31(2019)年4月より東京電力フュエル&パワー株式会社より株式会社JERAに事業が移管した。

由来・エピソード

- LNGは、U.A.Eやマレーシア、サハリン、オーストラリアなどからLNG専用のタンカーで輸入されている。1隻のタンカーのLNGが全て基地に送られるまでに約1日かかるという。なお、LNGはマイナス162℃の液体なので、燃料基地内の気化装置でガス化され発電用燃料として使用される。LNGの気化には海水の熱が使われ、LNGを通したパイプに海水をかけて温度交換させる仕組みとなっている。
- LNGは、液体にする過程で大気汚染の原因となる硫黄酸化物(SOx)が取り除かれるクリーンなエネルギーであり、また、石油に比べ少ない量で同じ量の電気を発電できるため、発生する二酸化炭素(CO2)の量を約2割削減できるなど、地球温暖化の防止にも貢献している。
- 環境保全にも積極的に取り組み、発電所の約50万㎡の敷地面積の1/4以上が緑地として整備されている。植物はこの地域に適した種類の苗木が選ばれ植樹された。すでに30年以上が経過し、生長した大小20万本以上の樹木が人工島に豊かな森を形づくっている。

補足・その他

- 株式会社JERAは、東京電力フュエル&パワー株式会社と中部電力株式会社の出資(出資比率は、50%ずつ)により平成27(2015)年4月30日設立。

関連シート

(18-1)株式会社JERA川崎火力発電所

かわさき区の宝物シート

| | |
|-------|----------------|
| 宝物No. | ひがしおうぎしまにしこうえん |
| 19-6 | 東扇島西公園 |



| | | | |
|-----|------|------|----|
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 東扇島 | 日時 | |

| | |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目的 | <input type="checkbox"/> 観る <input checked="" type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他 |
| 宝物定義 | <input type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 港めぐり <input type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物 |

| | |
|--------|-----------------------------------------------------------------|
| 所在地 | 川崎区東扇島 |
| 問い合わせ | 港湾局川崎港管理センター港営課 |
| TEL | 044-287-6034 |
| FAX | 044-287-6038 |
| E-mail | 58kouei@city.kawasaki.jp |
| URL | http://www.city.kawasaki.jp/580/page/0000001336.html (川崎市HP) |
| 交通 | JR川崎駅から市バス40分 東扇島西公園前下車 高速湾岸線「東扇島出口」から国道357号を横浜方面へ |



基礎情報

- 東扇島の東京湾側に平成14年(2002)10月13日オープンした海釣りのできる公園で、全長600メートルの釣りエリアや芝生広場は、休日になるとたくさんの人でにぎわう。ピクニックやサイクリングに最適。
- 天気の良い日には展望台から房総半島や海ほたるが見渡せる。

由来・エピソード

- 24時間利用可能な有料駐車場があり、車での来訪も便利。また、東扇島中公園にて自転車の無料貸し出しも行っている。大人用10台・子供用5台(先着順)、午前9時～午後4時(年末年始以外年中無休)。
- 段差のないスロープや駐車場脇のWCは、車椅子でも安心して利用できるバリアフリー仕様。
- 公園内では、焚き火やカセットコンロなど火気使用は禁止。

補足・その他

関連シート

- (17-4) 浮島つり園
- (28-1) 港湾施設(埋立地)

かわさき区の宝物シート

| | |
|-------|-----------------|
| 宝物No. | ひがしおおぎしまひがしこうえん |
| 19-7 | 東扇島東公園 |

| | | | |
|-----|------|------|----|
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 東扇島 | 日時 | |

| | | |
|------|------------------------------------|---------------------------------------------|
| 目的 | <input type="checkbox"/> 観る | <input checked="" type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する |
| | <input type="checkbox"/> 食べる | <input type="checkbox"/> その他 |
| 宝物定義 | <input type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> イベント・祭り |
| | <input type="checkbox"/> 味づくり | <input checked="" type="checkbox"/> にぎわい |
| | <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの | <input checked="" type="checkbox"/> 港めぐり |
| | <input type="checkbox"/> 歴史的なもの | <input type="checkbox"/> 人物 |



写真提供：川崎市

| | |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 所在地 | 川崎市川崎区東扇島58-1 |
| 問い合わせ | 川崎市港湾局川崎港管理センター港営課 環境管理担当または東扇島東公園管理事務所 |
| TEL | 044-287-6034または044-288-5523 |
| FAX | |
| E-mail | |
| URL | http://www.city.kawasaki.jp/580/page/0000001282.html (川崎市港湾局) |
| 交通 | J R川崎駅東口12番市営バス「川05系統 東扇島循環」 「東扇島東公園前」下車徒歩1分 首都高速湾岸線「東扇島」出口から国道357号線を東京方面へ車で10分 |



基礎情報

■平成20年(2008)4月にオープンした、面積約15.8ha(東京ドーム3個分)の海浜公園。敷地内には、ビーチスポーツや磯遊び・潮干狩りなどができる人工海浜「かわさきの浜」、ボール遊びなどができる「多目的広場」、開放感の溢れる広い「バーベキュー広場」、起伏のある「憩いの丘」、芝生で覆われた「わんわん広場(市内唯一のドッグラン施設)」、京浜運河を行き交う船や羽田空港を離着陸する飛行機を見ることができる「ウッドデッキ」、小魚やカニなどの水生生物が観察できる「潮入りの池」などが整備されている。

■平常時は海浜公園であるが、大震災などが発生したときには「首都圏臨海防災拠点」として、救援物資等の物流コントロール基地、海上輸送・陸上輸送等の中継基地、広域支援部隊のベースキャンプ場などとして活用される。

由来・エピソード

■市は、東扇島東公園の整備を行うにあたり、市民との協働による公園計画づくりのためのワークショップを平成13年からスタートさせた。市民や各団体から出された意見は、川崎に約50年ぶりに復活した砂浜「かわさきの浜」や「わんわん広場」などに反映されている。

■人工海浜では、造成直後からアサリが自然に発生し、平成22年(2010)4月には、法令によって採取が認められている2cm以上のアサリが数多く確認できたことから、潮干狩りが解禁された。

■良好なロケーションから、テレビドラマ・CMや広告写真の撮影で利用されている。

■夜間は、対岸の浮島町・千鳥町の工場の夜景を楽しむことができる「工場萌え」のスポットになっている。

■人工海浜での遊泳、浮き具遊びと、公園内(人工海浜を含む。)での釣りは禁止されている。

■わんわん広場(ドッグラン)を利用するには、犬の登録手続きが必要。

■各施設のうち、バーベキュー(バーベキューサイトやかまどなど)、駐車場は有料。

補足・その他

■利用申し込み(*その他の施設は申し込み不要)

- ・バーベキュー

「川崎市公共施設利用予約システム(ふれあいネット)」から申請。
(アドレスは<https://www.fureai-net.city.kawasaki.jp/>)

- ・わんわん広場(ドッグラン)

申請書を川崎市港湾部のホームページでダウンロードし、東扇島東公園管理事務所へ郵送、または窓口へ提出する。狂犬病予防接種日から1年間が有効期限とされている。

関連シート

(28-1)港湾施設(埋立地)

かわさき区の宝物シート

| | |
|-------|----------------|
| 宝物No. | かわさきひがしゆうびんきょく |
| 19-8 | 川崎東郵便局 |

| | | | |
|-----|------|------|----|
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 東扇島 | 日時 | |

| | |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目的 | <input type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input checked="" type="checkbox"/> その他 |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| | |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 宝物定義 | <input type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 港めぐり <input type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物 |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



| | |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 所在地 | 川崎区東扇島88番地 |
| 問い合わせ | 川崎東郵便局 |
| TEL | 0570-000-379 |
| FAX | |
| E-mail | |
| URL | https://www.post.japanpost.jp/cgi-shiten_search/shiten.php?id=27676 |
| 交通 | 川崎駅より川崎市営バス（川07系統）「山九物流センター前」下車徒歩1分 |



※川崎市の承認を得て同市発行の都市計画基本図を複製したものです。
承認番号（川崎市指令ま計第159号）

基礎情報

- 川崎東郵便局は平成25(2013)年5月4日に開局した郵便局である。
- 取扱業務
 - ①神奈川東部地域の郵便・ゆうパックの区分事務（人口約450万人、約204万世帯）
 - ②国際船便郵便物及び国際航空郵便物(外国来)の通関交換事務（輸出入される郵便物を税関検査等に付し、外国の郵便局と直接交換する事務）
 - ③郵便の引受事務
- 取扱物数
 - ①内国 郵便：約145万通、ゆうパック：約10万個
 - ②国際 国際郵便：約38万通、国際小包：約1万個

由来・エピソード

- 川崎東郵便局は物流のスピード化を実現するため国内の郵便ネットワーク再編に向けた拠点の1号として、また、日本と海外をつなぐ国際郵便物の玄関口として開局した。建物面積は56,248㎡で、これは郵便局として、全国で4番目の大きさである。
- 京浜港及び羽田空港のいずれにも近い立地を生かし、日本発着の国際線郵便物を当初は取り扱っていたが、平成26(2014)年6月17日以降から、成田国際空港・東京国際・大阪国際郵便局の業務を吸収し、全世界から到着するエアメール（航空通常郵便物）の全てを一手に集中して処理する郵便局（国際郵便通関交換局）となった。
- 川崎東郵便局での通関交換事務（輸出入される郵便物を税関検査等に付し、外国の郵便局と直接交換する事務）の取り扱い開始により、羽田空港の国際化への対応のほか、通関・保税管理、さらには航空保安対策のための処理施設の整備拡充といった問題が一気に解消可能となった。
- 内国郵便関係では、開局当初は川崎市全域を受け持っていたが、平成26(2014)年2月16日に横浜神奈川郵便局の業務を吸収し、神奈川東部地域（川崎市、横浜市内12区、横須賀市の一部、三浦市）の郵便物・ゆうパック等区分事務を行う郵便局となった。

補足・その他

関連シート